



オトモジ PRO

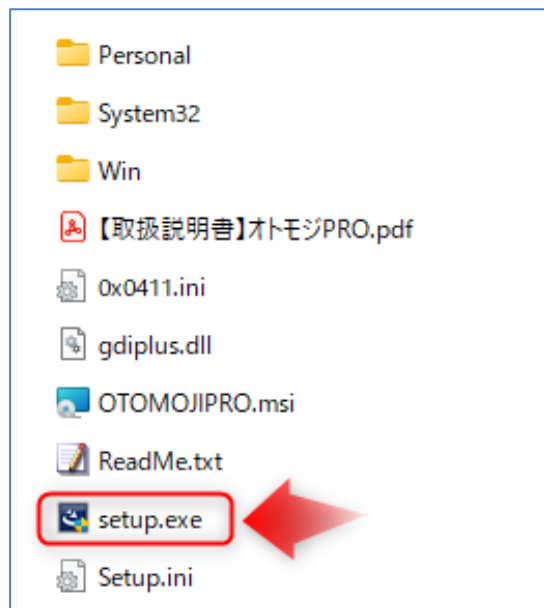
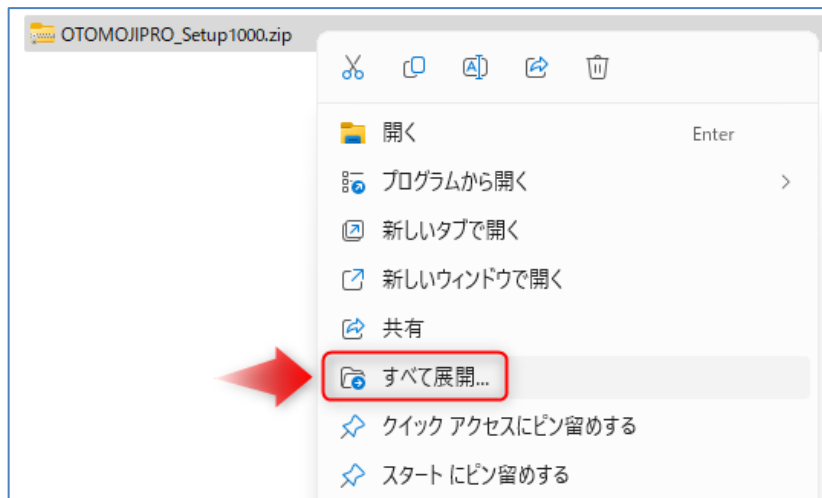
取扱説明書

※本取扱説明書で記載している画像は、Windows 11（一部 Windows 10）で取得したものです。
OSの種類によっては、異なる画面イメージになります。

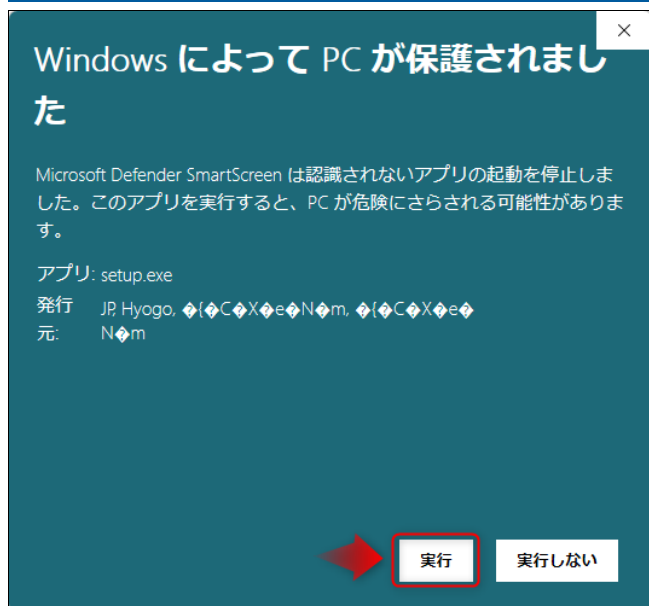
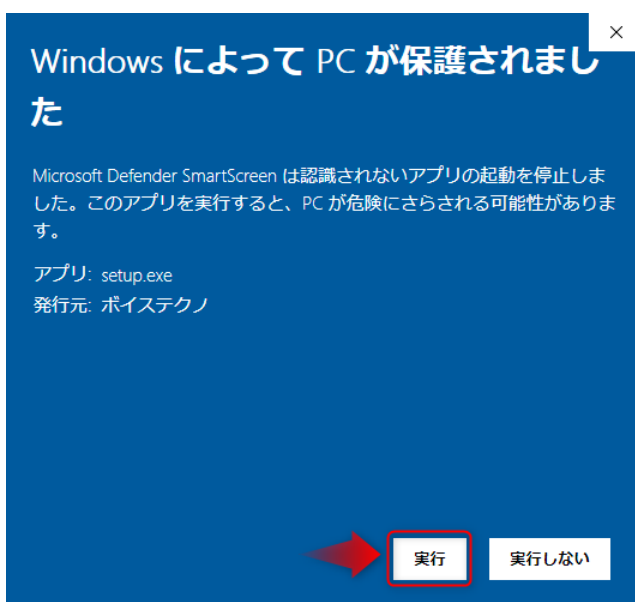
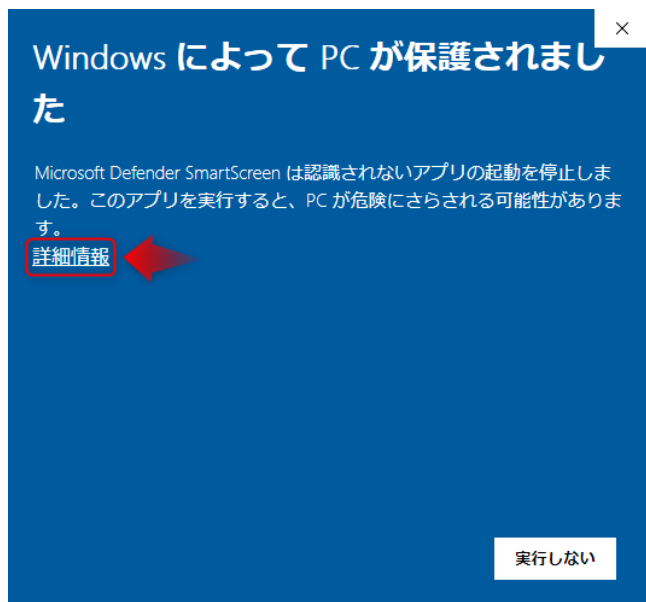
1. インストール方法

STEP 1 ダウンロードしたファイルを任意の場所に解凍し、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

ダウンロードした Zip ファイルをマウス右クリックし、表示されたメニューから[すべて展開]を選択すれば、解凍できます。

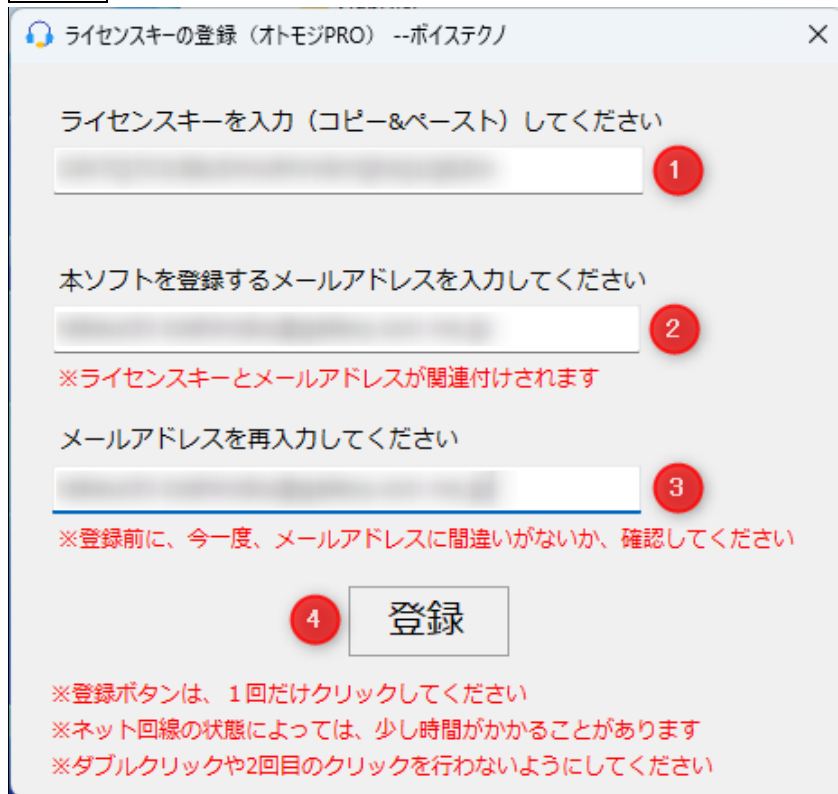


※下記画面が表示されたときは、[詳細情報]をクリックし、表示された画面で[実行]をクリックしてください。



Windows 11 の場合、文字化けすることがありますが、ボイステクノのソフトであることは間違いありませんので、[実行]をクリックしてください。

STEP 2 最初にライセンスキー登録画面が表示されます。

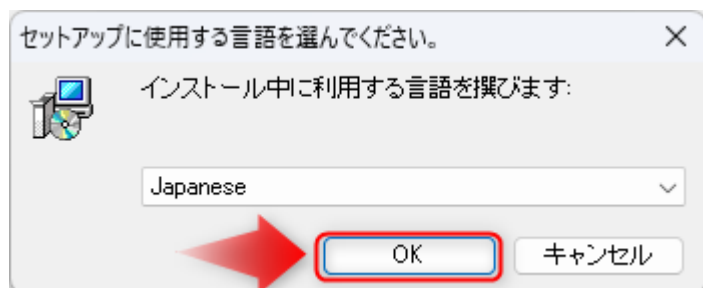


- ①ご購入されたライセンスキーを入力 (コピー&ペースト) してください。
- ②ご購入者のメールアドレスを入力してください。
- ③メールアドレスを再入力してください。
- ④「登録」ボタンを1回だけクリックしてください。

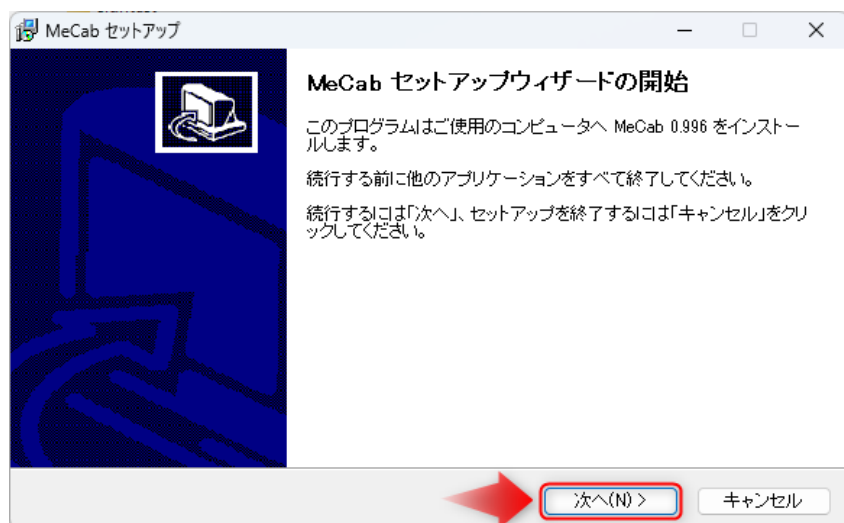
STEP 3 「次へ」をクリックしてください。



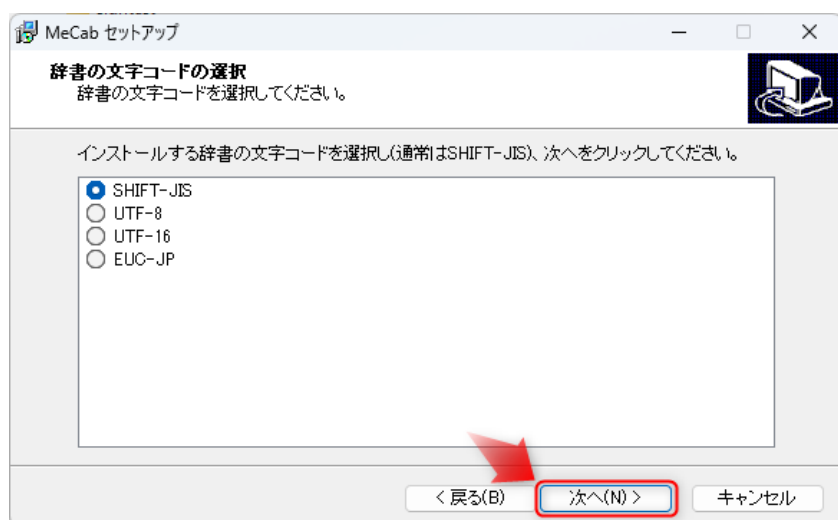
STEP 4 「オトモジ PRO」のインストールに先立ち、本ソフトに必要な Mecab をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。「OK」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。

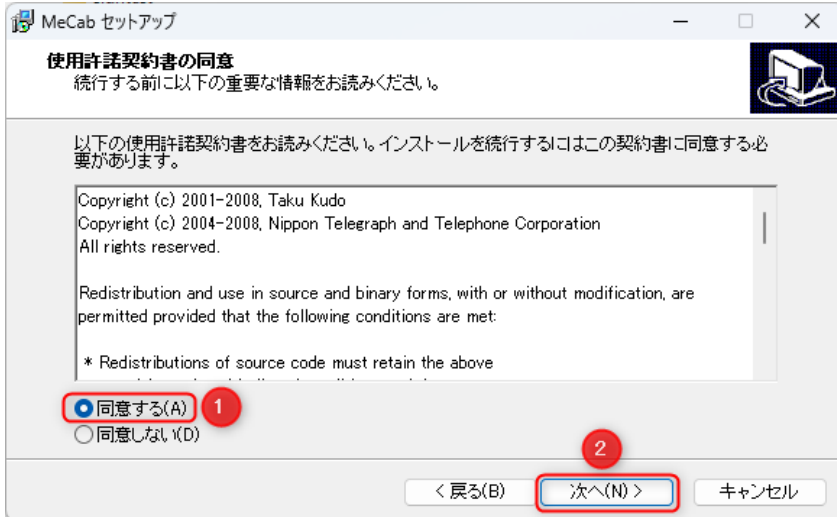


SHIFT-JIS が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

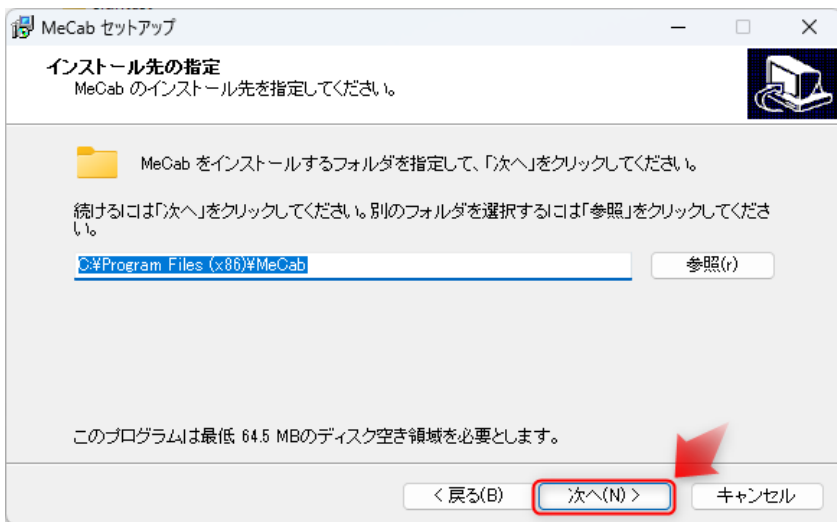


①使用許諾条件をお読みになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。

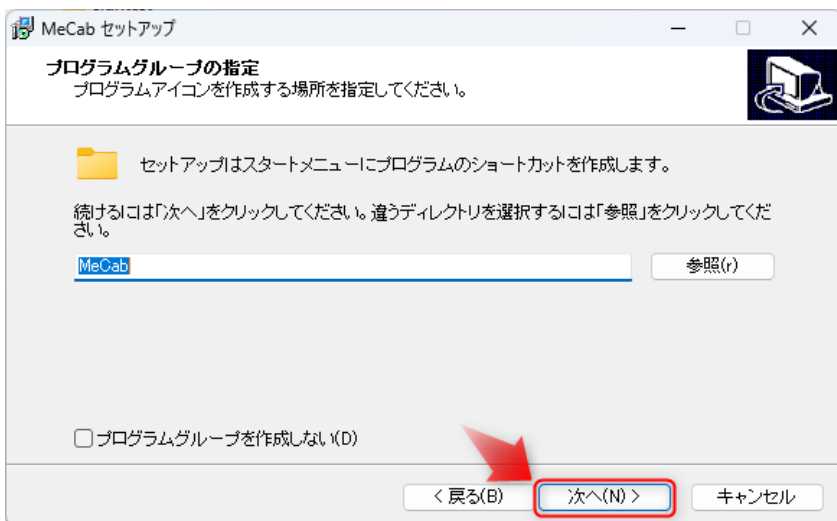
②「次へ」をクリックしてください。



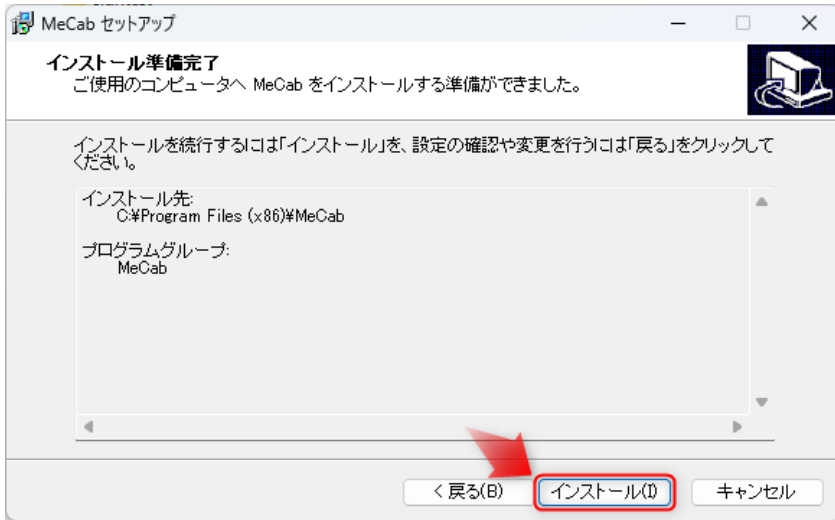
インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



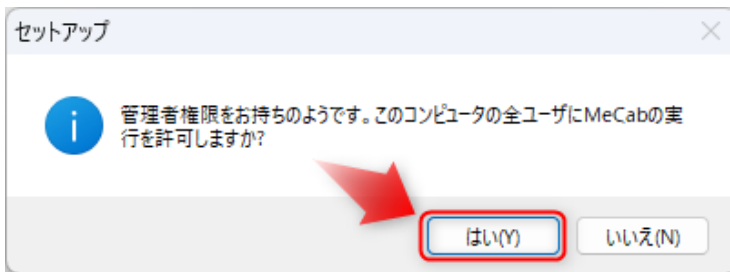
「次へ」をクリックしてください。



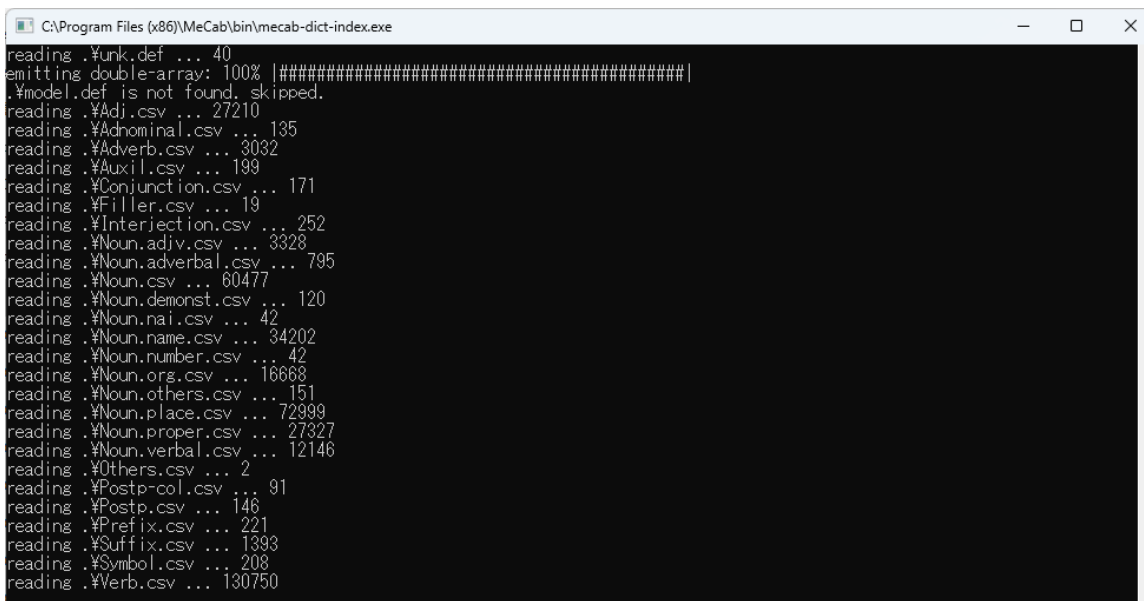
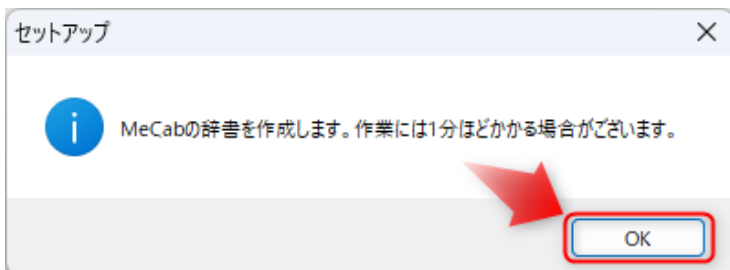
「インストール」をクリックしてください。



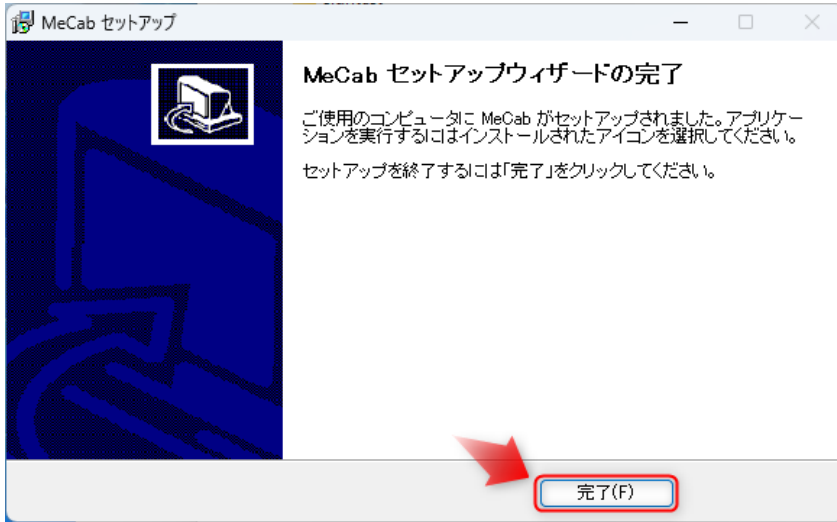
「はい」をクリックしてください。



「OK」をクリックしてください。

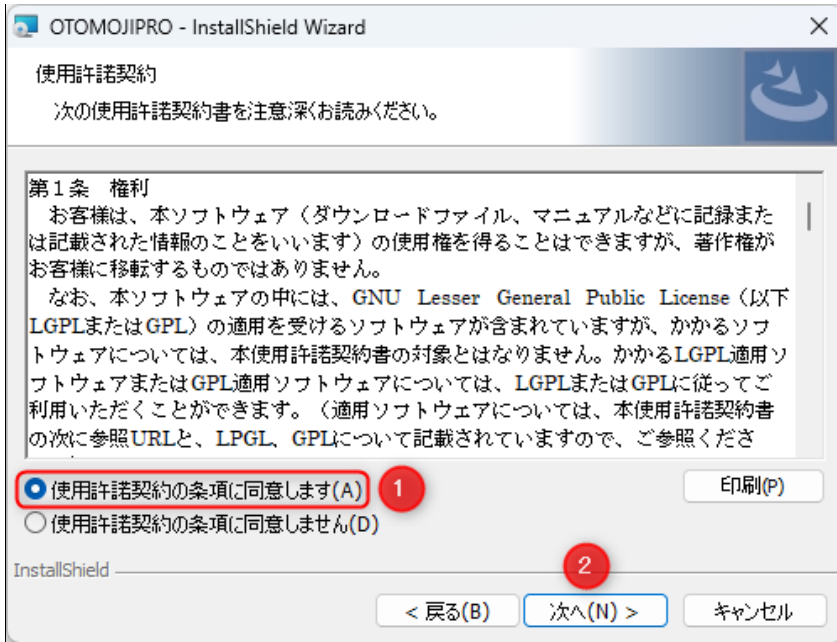


「完了」をクリックしてください。



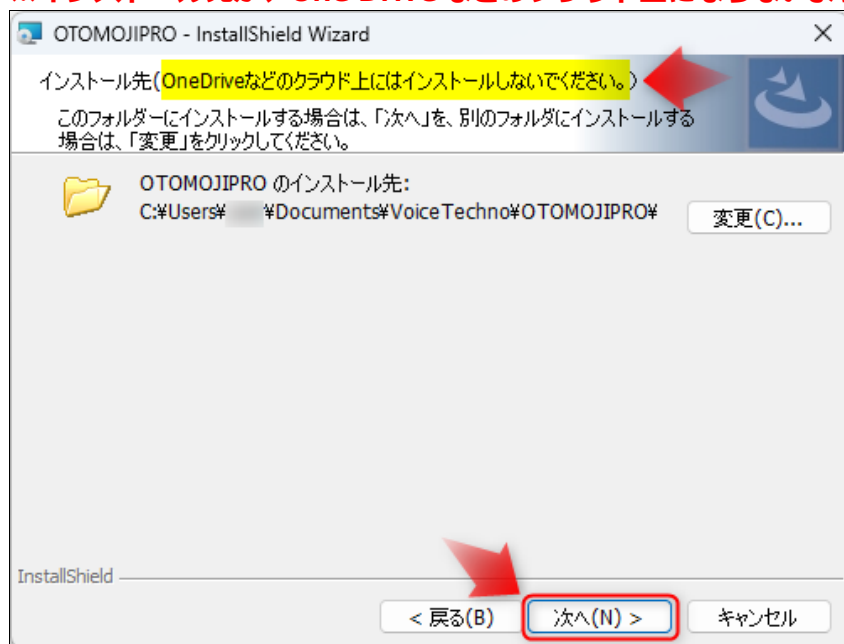
STEP 5 オトモジ PRO (OTOMOJIPRO) をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。

- ① 使用許諾条件をお読みにになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。
- ② 「次へ」をクリックしてください。

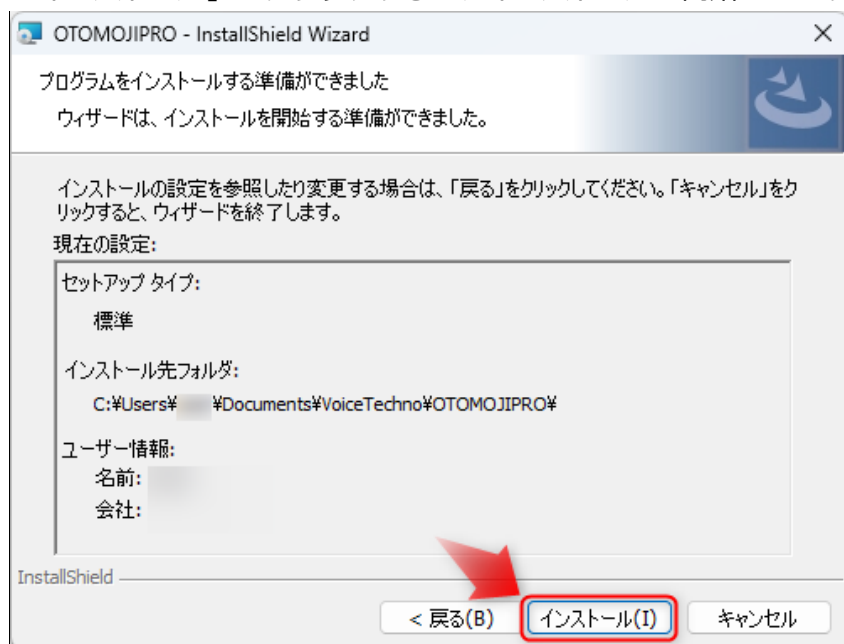


インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。

※インストール先が、One Driveなどのクラウド上にならないように確認してください。



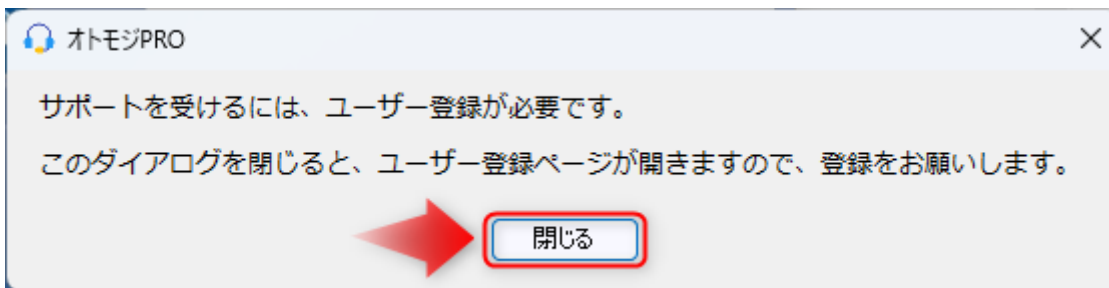
「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。





インストールが完了したら、「完了」をクリックしてください。

STEP 6 ユーザー登録案内のメッセージが表示されます。内容を確認し[閉じる]ボタンをクリックしてください。

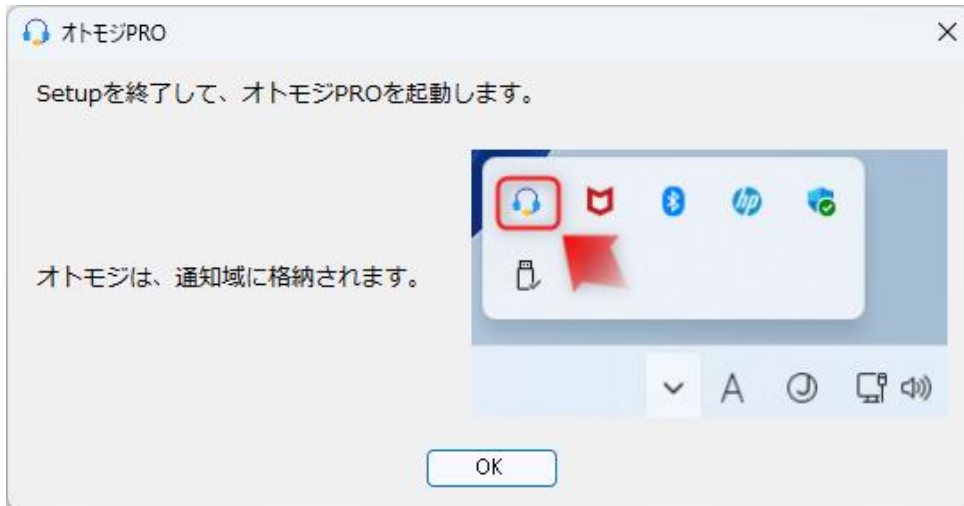


STEP 7 ブラウザが起動し、ボイステクノの「ユーザー登録ページ」が立ち上がります。お手数ではございますが、ソフトのご利用前に必ずユーザー登録をお願いいたします。



◆もしユーザー登録し忘れた場合は、[こちら](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) で登録ページが表示されます。

STEP 8 [OK]をクリックすると、Setupが終了し、「オトモジ PRO」が起動します。「オトモジ PRO」は、通知域に格納されます。



2. アンインストール方法

タスクトレイに常駐している「オトモジ PRO」を終了します。



Windows 10 の場合、スタートメニュー> 設定> アプリから、「アプリと機能」

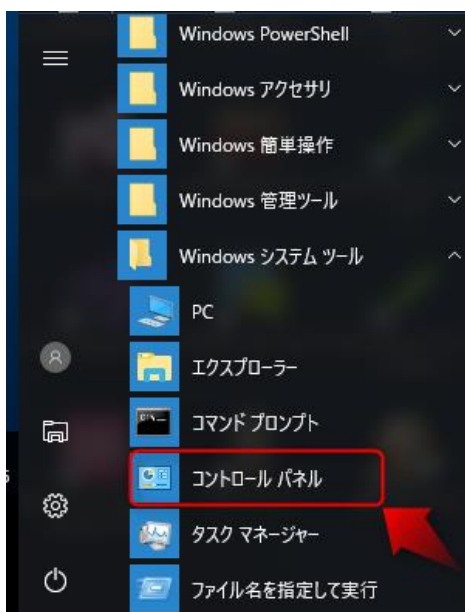
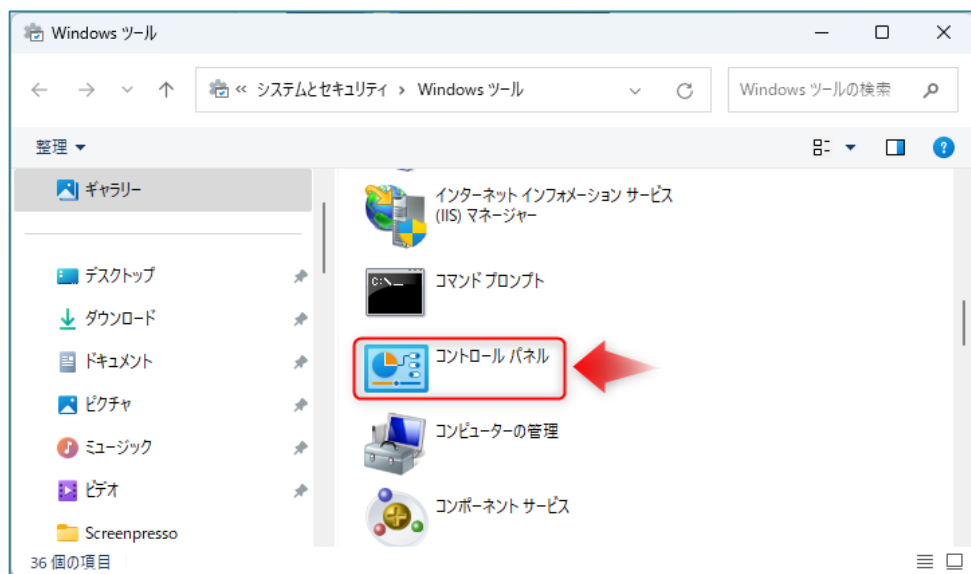
Windows 11 の場合、スタートメニュー> 設定> アプリ> インストールされているアプリから、「アプリ」を表示することでアンインストールできます。

画面は、Windows 11 の例



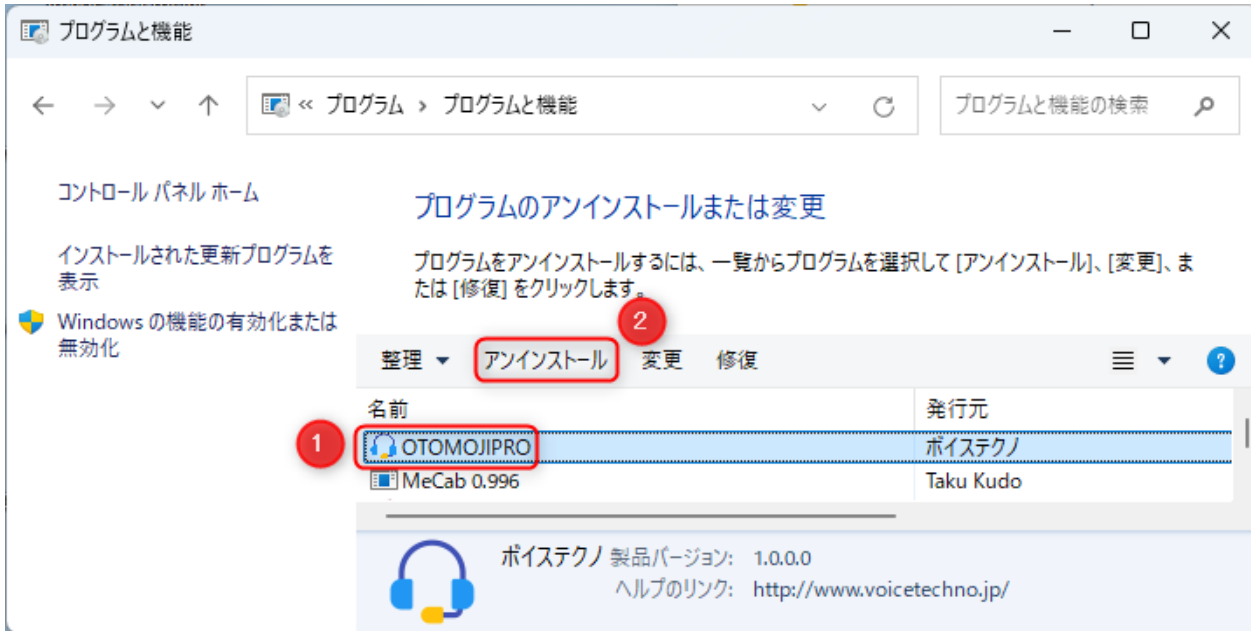
- ① 「OTOMOJIPRO」と入力すると、[OTOMOJIPRO]に関するアプリが検索され表示されます。
- ② 「・・・」をクリックし、メニューを表示します。
- ③ [アンインストール]をクリックします。

Windows 10/Windows 11 のコントロールパネルからアンインストールする場合
コントロールパネルの「プログラムと機能」を選択し、その中にある「OTOMOJIPRO」をクリックし、
画面上部にある「アンインストール」をクリックすると、アンインストールが開始されます。



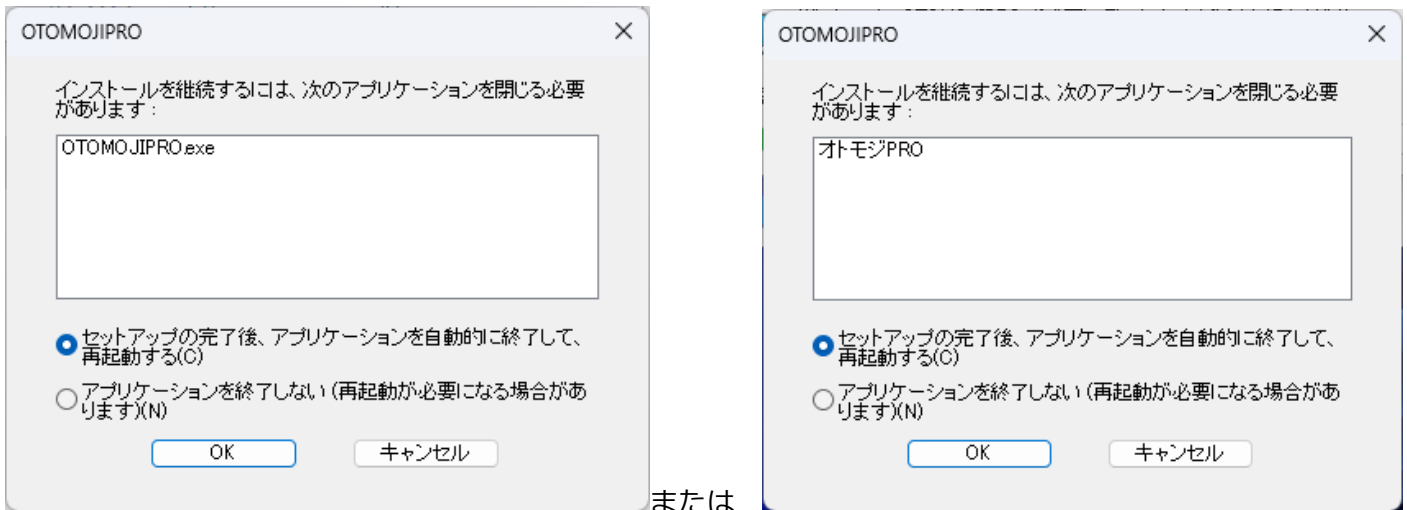
Windows 10 では、スタートメニュー> Windows システムツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。
Windows 11 では、スタートメニュー> Windows ツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。





- ① アンインストールするソフトを選択します。
- ② [アンインストール]をクリックします。

◆アンインストールを実行する前に、オトモジ PRO を終了していない場合は、このダイアログが表示されます。



- ◆オトモジ PRO を終了(P11 を参照)させてから、アンインストールするとこのメッセージは出ません。[キャンセル]をクリックすると、アンインストールをやり直せます。
- ◆[OK]をクリックして、アンインストールを継続した場合、実行中のファイルは再起動時に削除されます。

Mecab0.996 も同様にアンインストールします。

3. 事前準備

3-1 Google Chrome をインストール

本ソフトは、Google Chrome を介して音声認識を行います。Chrome がインストールされていない場合は、先に、Chrome をインストールしてください。



本ソフトウェアは、Google 社の音声認識エンジンをインターネットを介して利用しています。そのため、Google 社の音声認識サービスが利用できなくなると、本ソフトの音声認識機能も利用できなくなります。音声認識のために、音声データがインターネットを介してデータが送受信されます。機密情報を含む音声のご利用はお控えいただきますようお願い申し上げます。本ソフトで音声を認識させても、音声やマイクの種類等の条件により、認識精度が出ないことがあります。これら音声認識機能のサービス継続、利用、精度等に関して、ボイステクノ並びに販売業者等は、いかなる責任も負いません。あらかじめご了承ください。なお、本ソフトでの音声認識機能については、[Google 利用規約](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をよくご確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

3-2 録音デバイスの設定

本ソフトで、音声認識を行う場合、先に録音デバイスの設定を行う必要があります。

◆録音デバイスは、パソコンメーカーがパソコンに搭載しているサウンドデバイスのことを指します。パソコンごとに、搭載されているデバイスの種類や録音デバイスを動かすためのドライバーが異なります。パソコンに搭載されている録音デバイスの詳細は、ご利用のパソコンの取扱い説明書をご確認ください。

本ソフトで、音声認識を行うときの録音デバイスの設定は、次の通りです。次の表に基づいて、マイク、または、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定してください。(設定方法は次ページ)

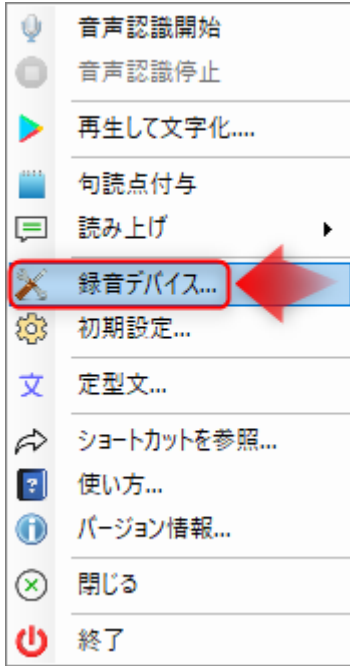
マイクによる音声の文字化	マイク
録音音声を再生して文字化	ステレオミキサー

◆録音デバイスの名称は、パソコンメーカーが設定しているため、異なることがあります。また、ステレオミキサーは、パソコンによっては、搭載されていないことがあります。ステレオミキサーが搭載されていないパソコンの場合、P19 記載のステレオミキサーがない場合の対応方法①、対応方法②をご参照ください。

◆録音デバイスの設定は、必ず「既定のデバイス」となるように設定してください。「既定の通信デバイス」となっている場合、認識できません。(P15～P18 を参照) また、レベルを適切に設定しないと認識精度が悪くなります。

◆マイク音声入力を行う場合、パソコンにマイクを接続してからでないと、マイクを「既定のデバイスに」設定できません。先に、マイクをパソコンに接続しておいてください。

メニューから、[録音デバイス]をクリックします。



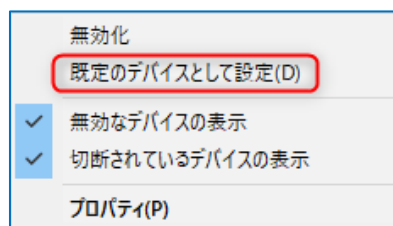
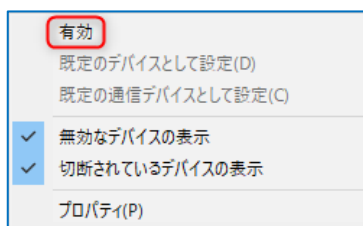
「マイクによる音声を文字化」



①マイクにチェックが入った状態

②マイクが「既定のデバイス」となるように設定します。

◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③マイクの場合、マイクに向かって話すと、インジケータが適度に触れることを確認します。

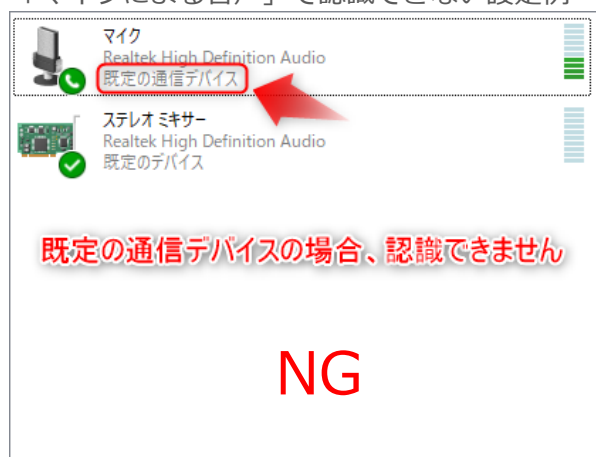
◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、マイク、マイクブーストのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケータが適度に振れるかどうかで判断します。)

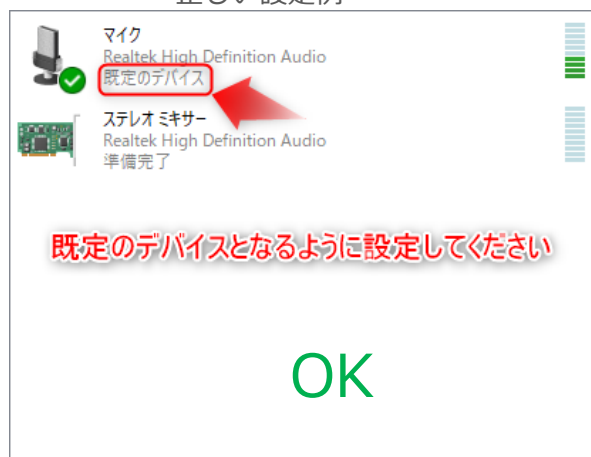


- ◆マイクの種類によっては、マイクブーストが存在しないことがあります。
- ◆マイクのレベルを調整しても、インジケータが適度に振れない場合は、マイク、またはパソコンの問題になります。マイクまたは、パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケータが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

「マイクによる音声」で認識できない設定例



正しい設定例



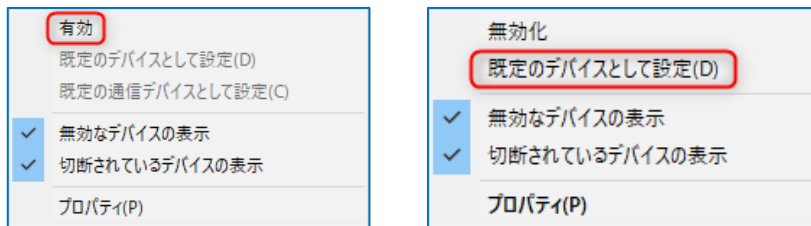
「再生して文字化」の場合



①ステレオミキサーにチェックが入った状態

②ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定します。

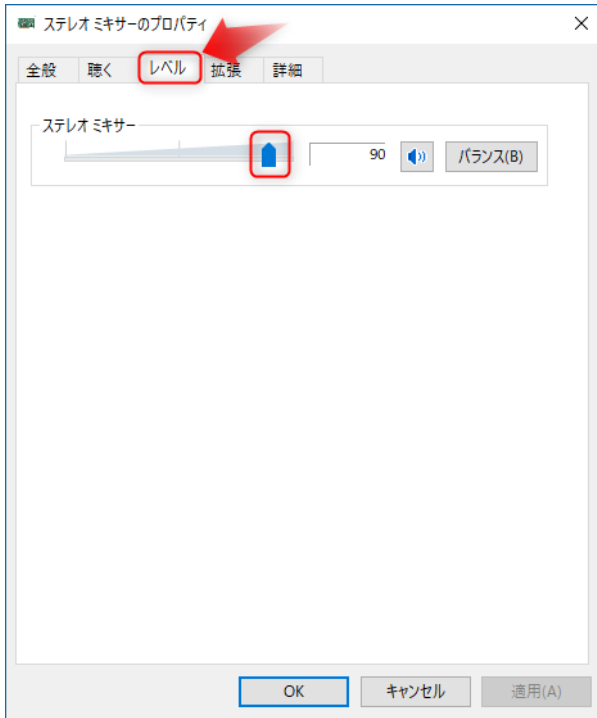
◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③再生プレーヤーで音声を再生すると、インジケータが適度に触れることを確認します。

◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、ステレオミキサーのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケーターが適度に振れるかどうかで判断します)

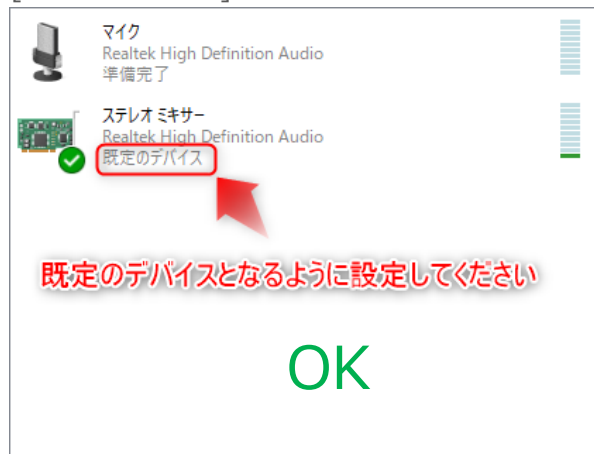


- ◆ レベルを調整しても、インジケーターが適度に振れない場合は、パソコンの問題になります。パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆ 右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆ 「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケーターが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

録音音声の文字化で認識できない設定例



[再生して文字化]の正しい設定例



- ◆ パソコンによっては、ステレオミキサーが存在しないことがあります。
ステレオミキサーがパソコンに搭載されていない場合、
対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法
対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法
により、認識させることができます。(次ページ)

ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合

対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法



1	二股分配ケーブルをパソコンのヘッドホン端子に接続します。
2	二股分配ケーブルと（ヘッドホン・スピーカーなど）と接続します。
3	二股分配ケーブルとオーディオケーブルを接続します。
4	オーディオケーブルをパソコンのマイク端子に接続します。

◆再生音声をマイクに流し込んで認識させますので、録音デバイスはマイクを「既定のデバイス」に設定してください。

◆オーディオケーブルは、「抵抗入り」と「抵抗なし」の2種類があります。ご利用のパソコンの仕様に基づいたオーディオケーブルを選択してください。詳しくは、パソコンの取扱い説明書をご確認ください。

対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法

「USB」「ステレオミキサー」をキーワードにネット検索してみてください。ステレオミキサー機能を追加可能な機器がいろいろ見つかります。

◆USB ステレオミキサーとパソコンとの相性に関して、ボイステクノ並びに販売者等は、動作保証を行っていません。詳細は、USB ステレオミキサーの開発元にお問い合わせをお願いします。

◆USB ステレオミキサーに付属の専用ソフトをインストールすると、録音デバイスに、ステレオミキサーに相当するデバイスが追加される商品があります。

例：Creative 社の再生リダイレクト対応商品（[対応一覧](#)）（Ctrl キーを押しながらクリック）など

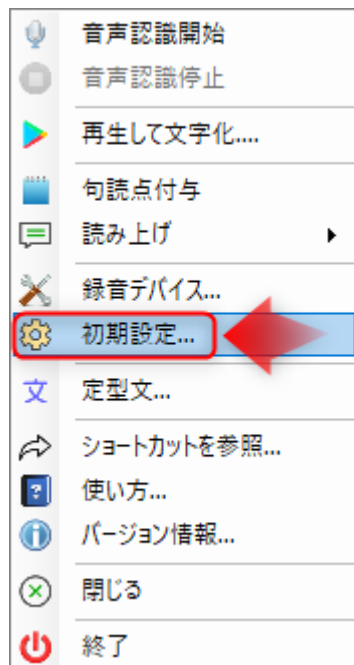
上記商品は、一例であって、ボイステクノ並びに販売者等は、ご利用のパソコンでの動作を保証するものではありません。USB ステレオミキサーの導入に際しては、ご自身の責任でご判断願います。

3-3 入力音声のレベル調整（初期設定）

パソコンに入力される音声を録音し、録音品質と入力音声のレベルを確認します。

STEP 3-3-1 STEP3-2 録音デバイスの設定を行います。

STEP 3-3-2 メニューから[初期設定]を選択します。



「マイクによる音声を文字化」の初期設定



- ① [録音開始]をクリックし、マイクに向かって話します。
- ② [録音停止]ボタンをクリックするか、または 10 秒が経過すると、
- ③ 「状態の目安」に、パソコンに入力された音声のレベルが判定され表示されます。



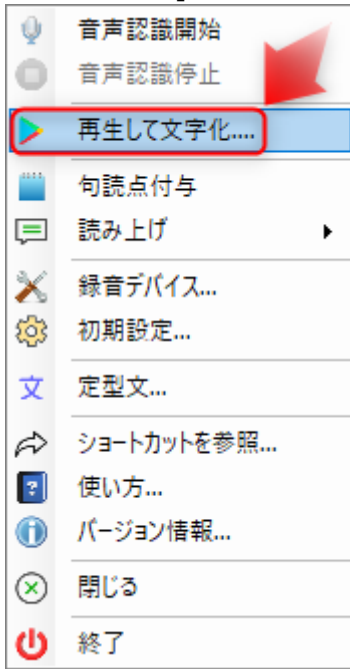
録音が完了すると、音声レベルの結果（上記表示例は、

- ④ 「適した音量」が表示され、
- ⑤ [再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。

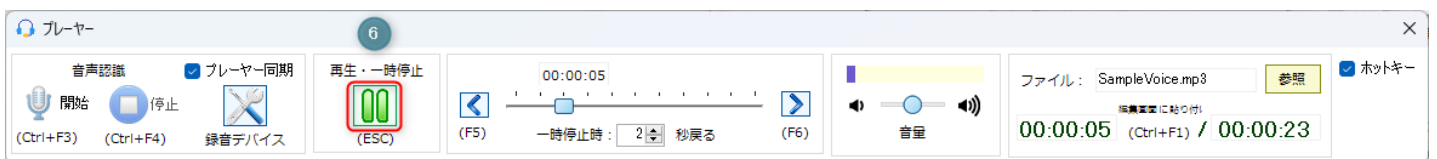
◆マイクの性能が悪いと、ノイズを含んだ音声再生されます。ノイズを含んでいると音声認識の精度は期待できません。また、STEP3-2 録音デバイスの設定に記載のレベルが適切でないと、音が割れたり、再生音がほとんど聞こえない状態になることがあります。このような状態になる場合は、STEP3-2 録音デバイスの設定をやり直してください。

「再生して文字化」の初期設定

メニューから[再生して文字化]を選択して、プレーヤーを表示します。



- ① 音声ファイルを選択します。
- ② [再生]ボタンをクリックし、音声ファイルを再生します。
- ③ [録音開始]をクリックします。
- ④ [録音停止]ボタンをクリックするか、または10秒が経過すると、
- ⑤ 「状態の目安」に、パソコンに入力された音声のレベルが判定され表示されます。



- ⑥ [一時停止]ボタンをクリックし、再生を停止します。録音が完了すると、音声レベルの結果（上記表示例は、
- ⑦ 「適した音量」）が表示され、
- ⑧ [再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。

◆ステレオミキサーの性能が悪いと、ノイズを含んだ音声再生されます。ノイズを含んでいると音声認識の精度は期待できません。また、STEP3-2 録音デバイスの設定に記載のレベルが適切でないと、音が割れたり、再生音がほとんど聞こえない状態になることがあります。このような状態になる場合は、STEP3-2 録音デバイスの設定をやり直してください。ステレオミキサーの性能が悪い場合は、ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合の対応方法 (P16) をご確認ください。

4. マイクによる音声文字化の使い方

4-1 音声認識の実行

マイクに向かって話した音声を文字に変換します。**以下の手順は、3の事前準備ができている前提です。**

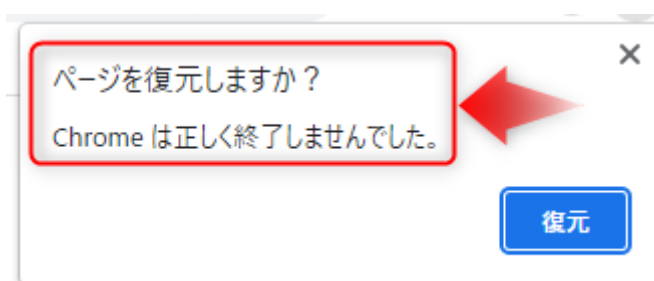
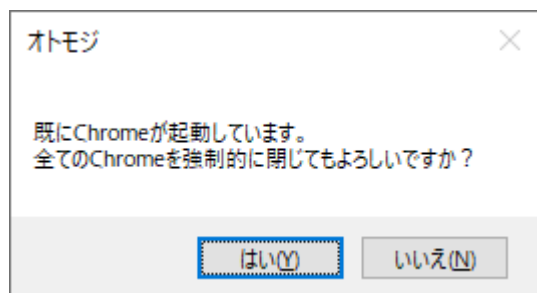
「マイクによる音声文字化」を実行する前に、録音デバイスを、マイクが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

メニューから、[音声認識開始]をクリックします。

◆ Ctrl + Alt + K の操作でも起動します。

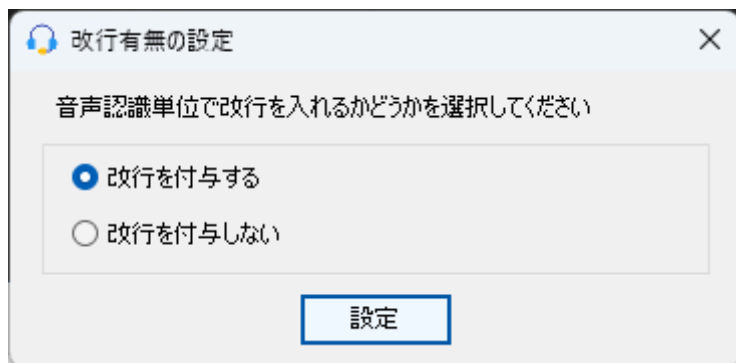


◆ 先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ（左）が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ（右）が表示されます。

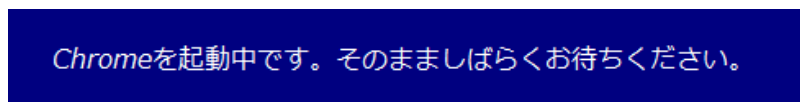


音声認識実行時に、音声認識単位で改行を付与するかどうかを選択します。

「改行を付与する」と選択すると、音声認識単位ごとに末尾に改行コードが付与され、クリップボードにコピーされます。

「改行を付与しない」と選択すると、音声認識単位ごとに末尾に改行コードは付与されません。

Google Chrome が自動で起動されます。

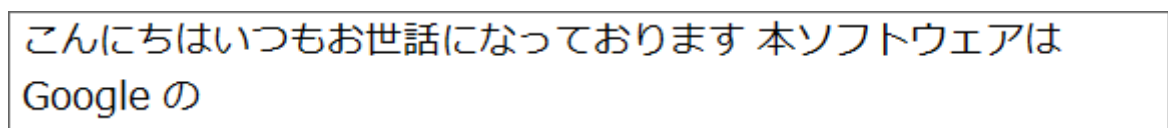


◆Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



◆Chrome の起動が完了したら、マイクに向かって話してください。音声認識されたテキストは、任意のソフトの編集画面に自動で貼り付けられますので、貼り付けたいソフトの編集画面をアクティブにしてください。

◆貼り付け可能なソフトは、クリップボードのデータが Ctrl +V で貼り付けることが可能なソフトになります。音声認識されると、途中経緯がデスクトップ右上に表示され、一定文章が入力されると、アクティブになっている編集ソフトに認識結果が表示されます。



認識結果は、クリップボードに設定されます。

◆通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。

◆通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。

4-2 音声認識の停止

メニューから、[音声認識停止]をクリックします。メニューは、編集画面上で、Ctrl + Alt + M を押下して表示してください。上下矢印キーで、項目の選択もできます。Enter キーの押下で決定します。

◆音声認識実行中は、フォーカスが認識経緯画面に移動しているため、通知トレイのメニューは画面がチカチカして、音声認識の停止が選択困難になります。

◆Ctrl + Alt + J の操作でも停止できます。



Chromeを終了中です。そのまましばらくお待ちください。

◆連続して音声認識が実行できる時間は、1 時間 30 分です。音声認識開始後、1 時間 30 分が経過すると自動で停止します。

再度、音声認識を実行する場合は、開始を実行し直してください。

5. 録音音声を再生して文字化の使い方

5-1 音声認識の実行

録音音声をプレーヤーで再生することで、再生した音声を文字に変換します。

以下の手順は、3の事前準備ができています。

再生して文字化を実行する前に、録音デバイスを、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

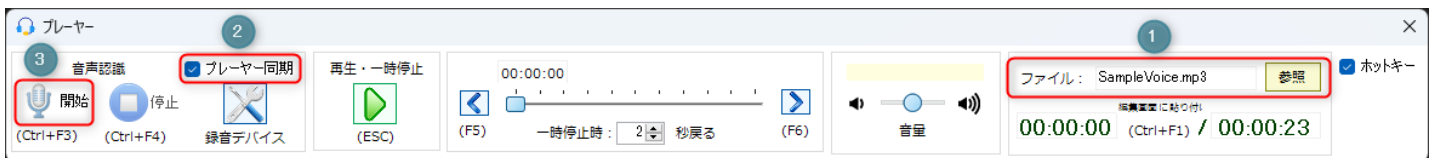


◆録音音声文字化時の留意点

マイクを通していない音声の会議録音、フリートーク、電話などの会話調の音声、街中のインタビューなどの場合は、認識精度は期待できません。ほとんど認識できないこともあります。また、録音品質が悪い（ノイズが多い）場合も認識精度が出ません。録音時に、マイクと口元が 30cm 以上離れている場合は認識精度が悪くなります。会議の場合は、発話者ごとにマイクを通して話すようにし、明瞭に話すことを心がけてください。テーブルの中央に IC レコーダーを置いただけの録音の場合（集音マイクでの録音）は、認識精度は出ません。

STEP 5-1-1 再生リスト画面から、

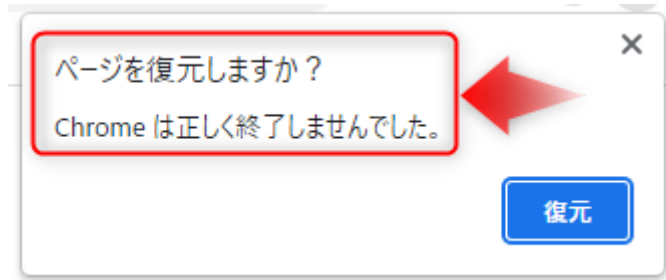
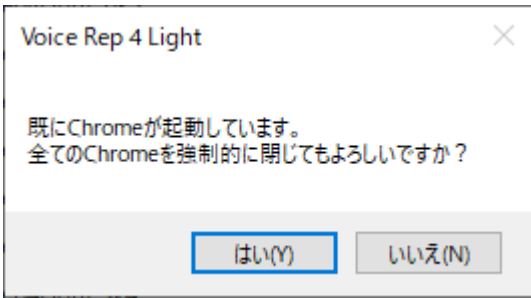
- ① 文字化したい音声ファイルを選択し、
- ② プレーヤー同期にチェックを入れ、
- ③ 音声認識の開始をクリックします。



[認識時の設定項目]

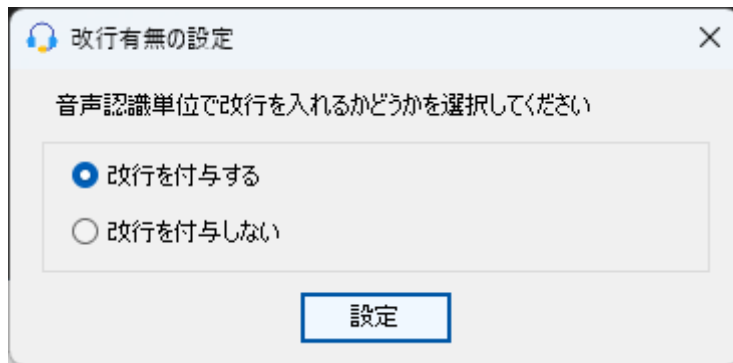
②プレーヤー同期音声認識実行時、Chrome の起動が完了し音声認識がスタートすると同時に、プレーヤーを再生する場合にチェックを入れます。

◆先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ（左）が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識の①開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ（右）が表示されます。



音声認識実行時に、音声認識単位で改行を付与するかどうかを選択します。

「改行を付与する」と選択すると、音声認識単位ごとに末尾に改行コードが付与され、クリップボードにコピーされます。

「改行を付与しない」と選択すると、音声認識単位ごとに末尾に改行コードは付与されません。

Google Chrome が自動で起動されます。

Chromeを起動中です。そのまましばらくお待ちください。

◆Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



◆「プレーヤー同期」にチェックが入っている場合、Chrome の起動が完了すると、音声ファイルの再生が自動で開始され、文字化が始まります。

◆「プレーヤー同期」にチェックが入っていない場合、Chrome の起動が完了したあとに、音声ファイルを手動で再生してください。再生された音声の文字化が始まります。

◆音声認識されたテキストは、任意のソフトの編集画面に自動で貼り付けられますので、貼り付けたいソフトの編集画面をアクティブにしてください。

◆貼り付け可能なソフトは、クリップボードのデータが Ctrl +V で貼り付けることが可能なソフトになります。音声認識されると、途中経緯がデスクトップ右上に表示され、一定文章が入力されると、アクティブになっている編集ソフトに認識結果が表示されます。

こんにちはいつもお世話になっております 本ソフトウェアは
Google の

認識結果は、クリップボードに設定されます。

- ◆ 通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。
- ◆ 通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。
- ◆ 録音音声ファイルを最後まで再生すると、再生位置が自動で先頭に戻り、音声認識も終了します。

5-2 音声認識の停止

プレーヤーの音声認識[停止]をクリックします。



[停止]をクリックすると、音声認識が終了すると同時に、再生が一時停止します。

Chromeを終了中です。そのまましばらくお待ちください。

- ◆ 連続して音声認識が実行できる時間は、1 時間 30 分です。音声認識開始後、1 時間 30 分が経過すると自動で停止します。再度、音声認識を実行する場合は、開始を実行し直してください。

5-3 プレーヤー内のホットキー

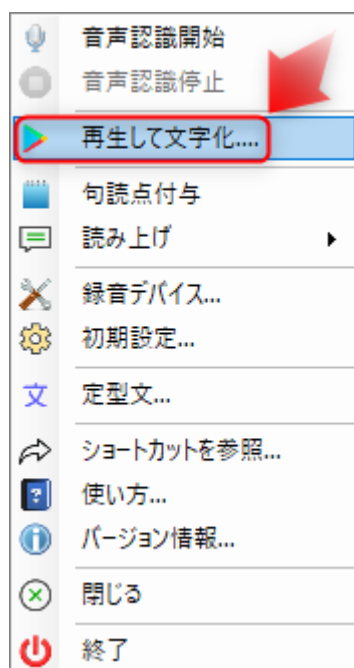


ホットキーにチェックを入れるとキーで操作ができます。

Ctrl + F3	音声認識を開始します
Ctrl + F4	音声認識を停止します。
ESC	指定した録音ファイルの再生・一時停止を行います
F5	録音ファイルの再生位置を早戻しします。
F6	録音ファイルの再生位置を早送りします。
Ctrl + F1	再生位置のカウンター情報を編集画面に貼り付けます。

6. 再生プレーヤーの使用方法

本ソフトのプレーヤー画面操作に関する説明です。



再生プレーヤーは、録音音声の文字化だけでなく、単に録音音声を再生するプレーヤーとしても利用できます。

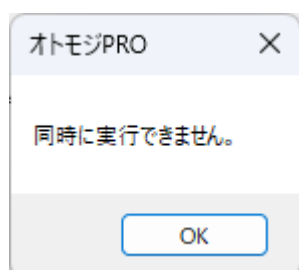


①	ボイスファイルの再生・一時停止を実行します。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
②	ボイスファイルの再生位置を早戻しします。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
③	このつまみをつかんで任意の再生位置に移動できます。
④	一時停止時にここに設定した秒数だけ再生位置を戻します
⑤	ボイスファイルの再生位置を早送りします。[キー設定]で登録したキーの操作でも動作します。
⑥	再生時のレベルメーターを表示します。
⑦	再生時の音量を調整します。
⑧	再生時の時間情報を表示します。
⑨	選択しているボイスファイルの録音時間を表示します。

7. 定型文の使い方

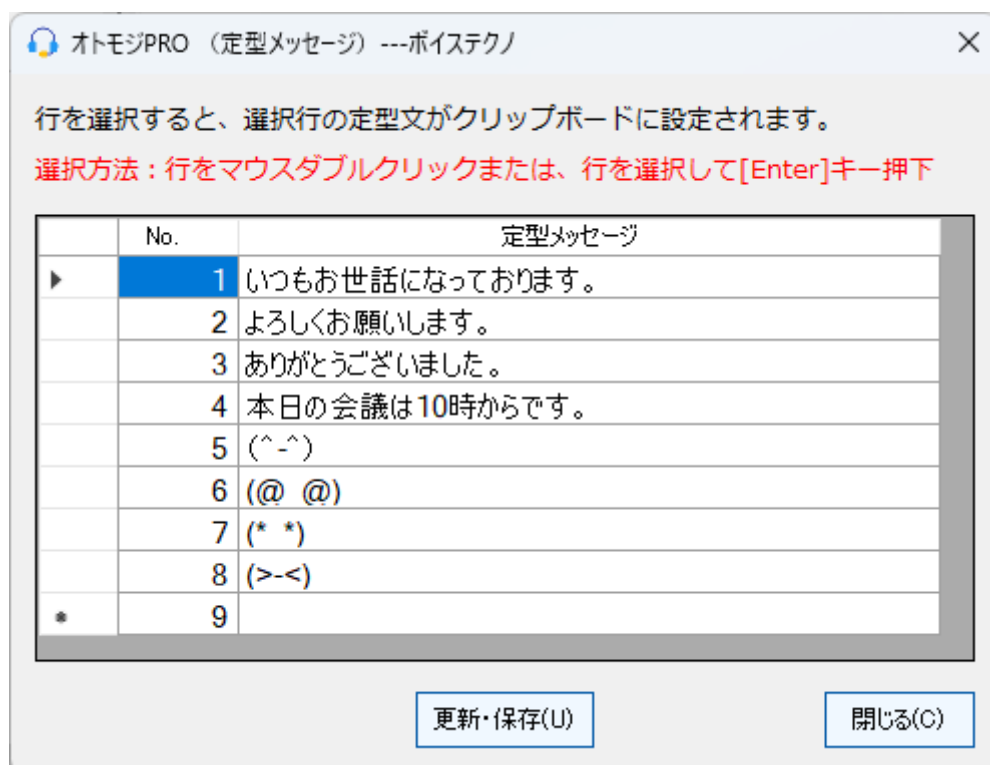
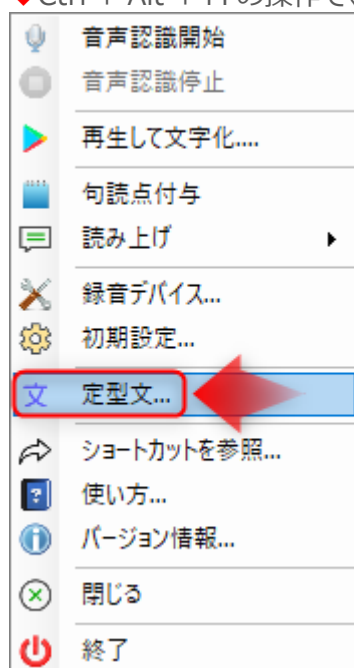
7-1 定型文ダイアログの表示

◆音声認識実行時は、定型文は入力できません。定型文を入力するときは、音声認識を停止してください。



任意の編集画面上で、メニューから[定型文]をクリックすると、定型文ダイアログが表示されます。

◆Ctrl + Alt + M の操作で、メニューが表示されます。

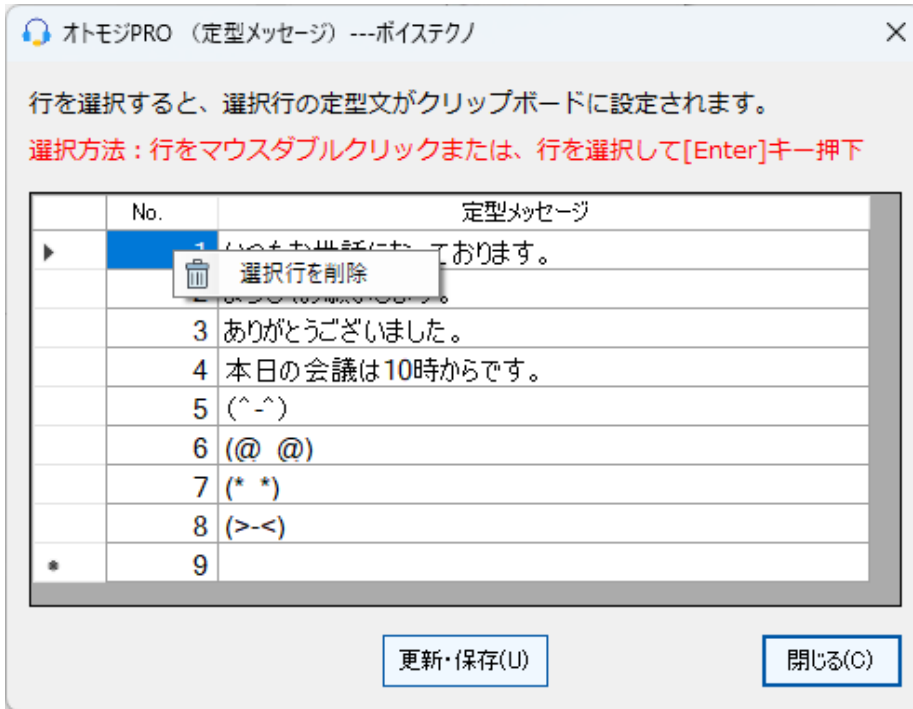


- ◆ 貼り付けたい定型文の行をマウスダブルクリックするか、上下矢印キーで選択し、[Enter]キーを押下すると、このダイアログが閉じられ、編集画面に選択した定型文が貼り付けられます。
- ◆ ダイアログが閉じたときに、フォーカスが編集画面に移り、貼り付けが実行されますので、ダイアログを開いたまま、連続貼り付けは実行できません。
- ◆ 選択した定型文は、クリップボードに設定されます。

7-2 定型文の編集（削除・追加・更新）

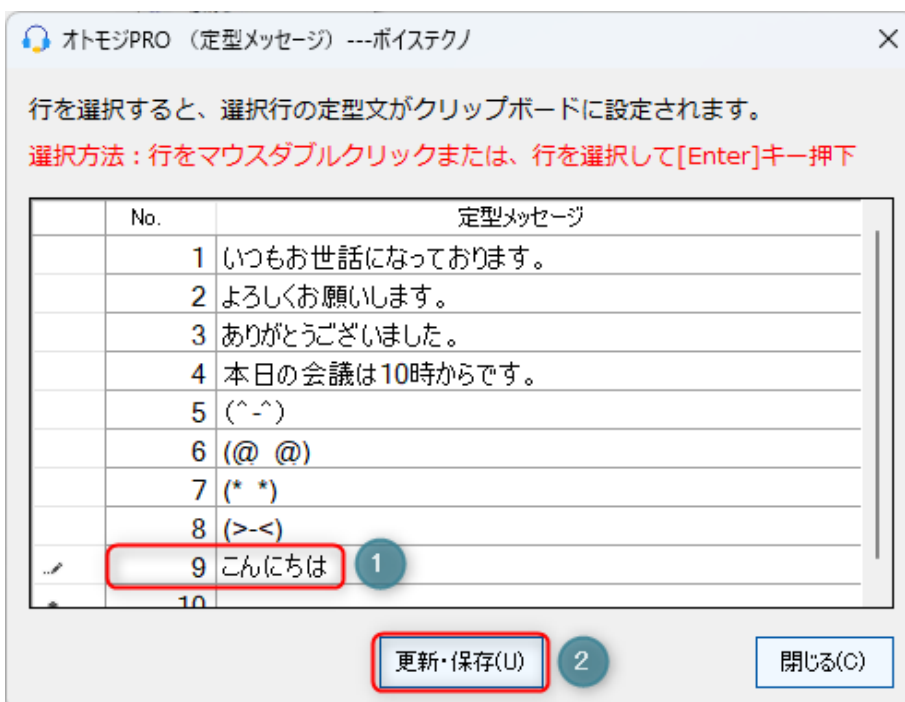
定型メッセージは、セル画面上で、削除・追加・更新が行えます。

【削除】



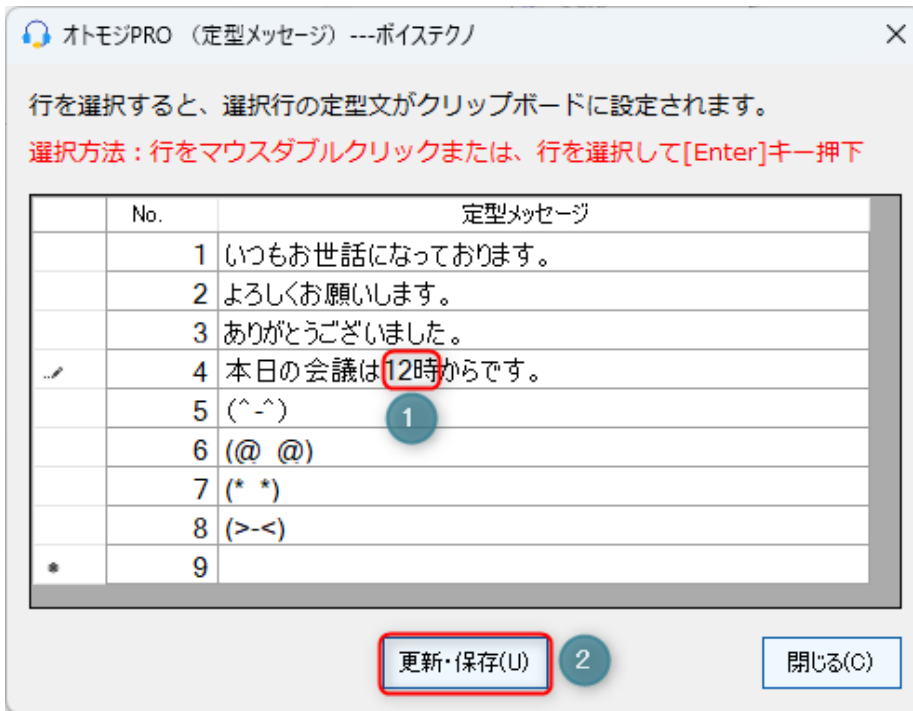
削除したい行を選択し、マウス右クリックメニューから、[選択行を削除]をクリックします。

【追加】



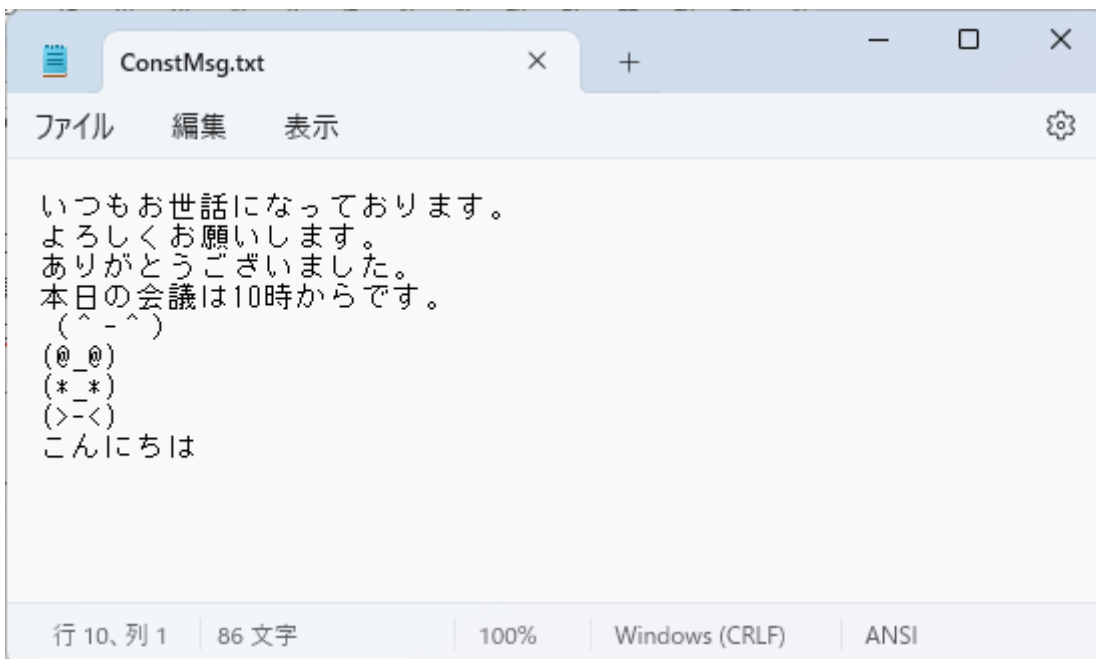
- ①セルの最終行に、追加したい文章を入力します。
- ②[更新・保存]ボタンをクリックします。

【更新】

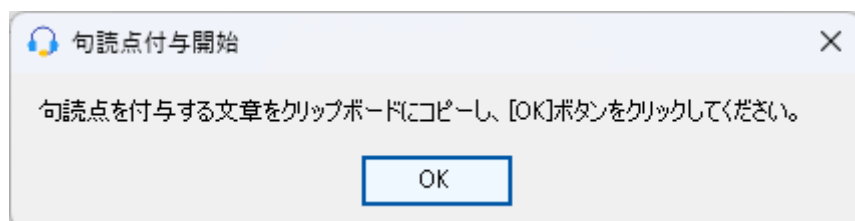
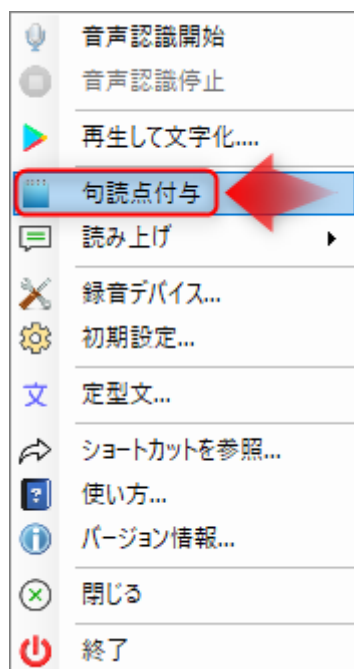


- ①変更した行の定型メッセージを更新します。(この例では、10時を12時に変更)
- ②[更新・保存]ボタンをクリックします。

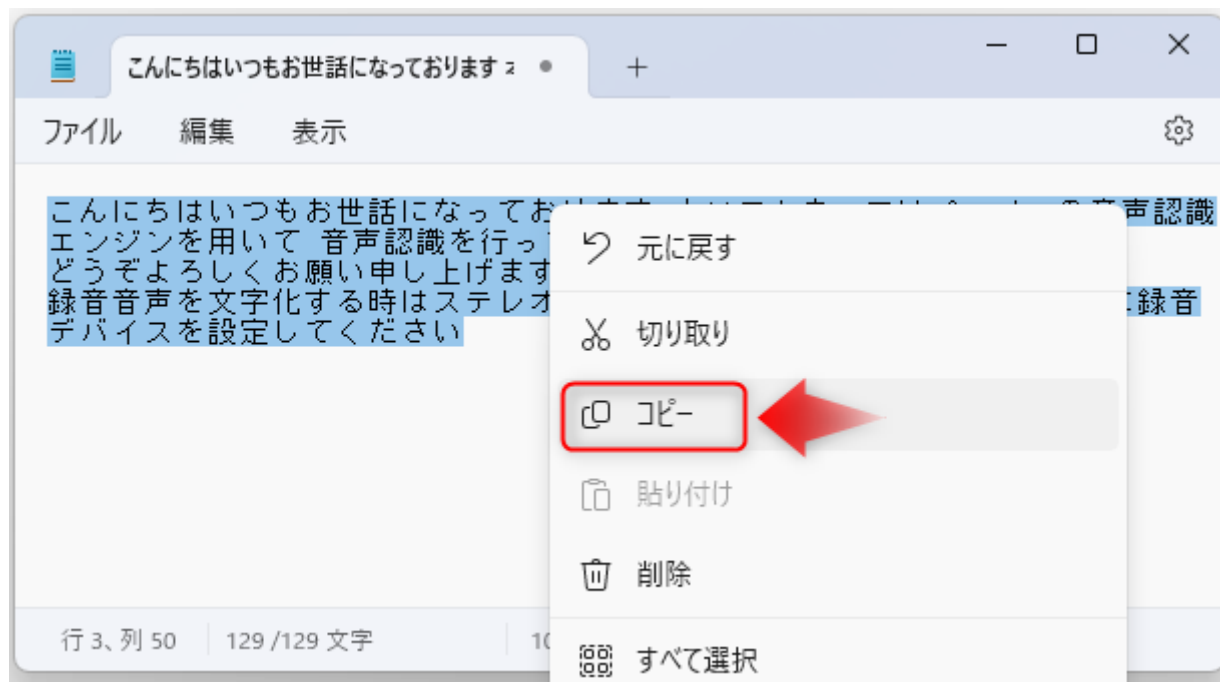
本ソフトでの定型文は、テキストファイルとして保存されています。プログラム上から、定型文の追加・削除もできますが、直接、テキストファイルを開いて編集できます。テキストファイルは、デフォルトでは、C:\%Users%\[ユーザー名]\Documents\VoiceTechno\OTOMOJIPRO\Msg\ConstMsg.txt に保存されています。ConstMsg.txt はメモ帳などで編集できます

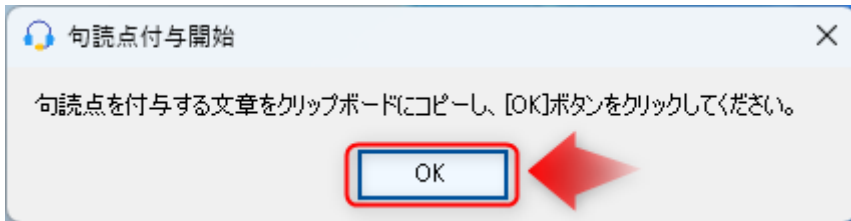


8. 句読点付与

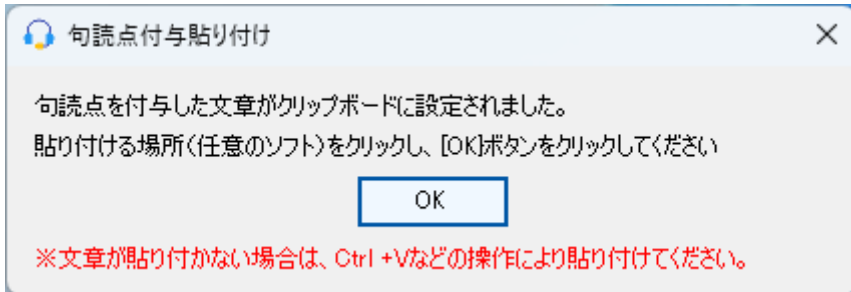


◆句読点を付与する文章をドラッグし、コピーします。

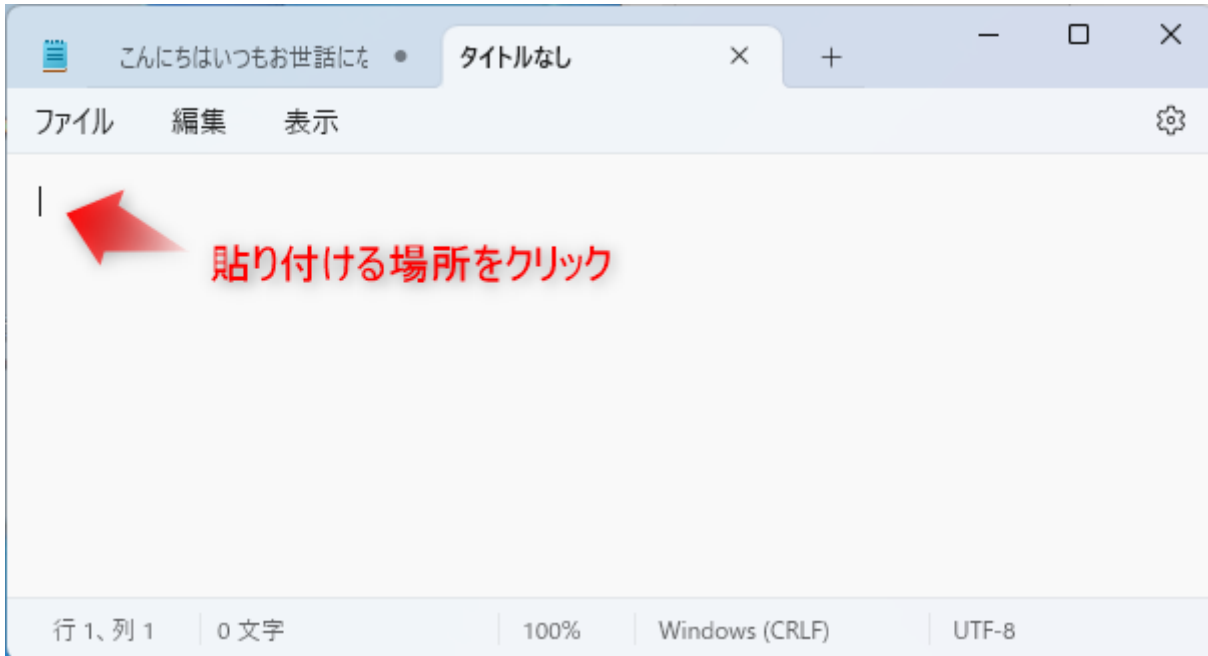




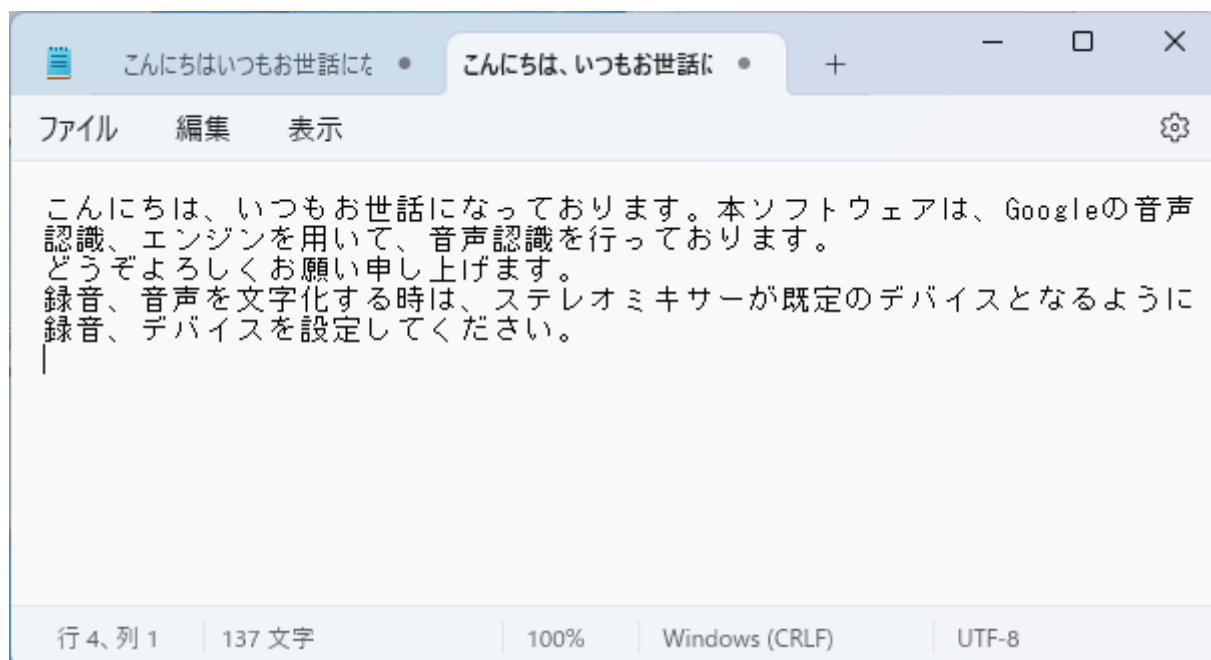
◆ [OK]をクリックすると、クリップボードにコピーした文章に対して、句読点が付与され、新たにクリップボードに設定されます。



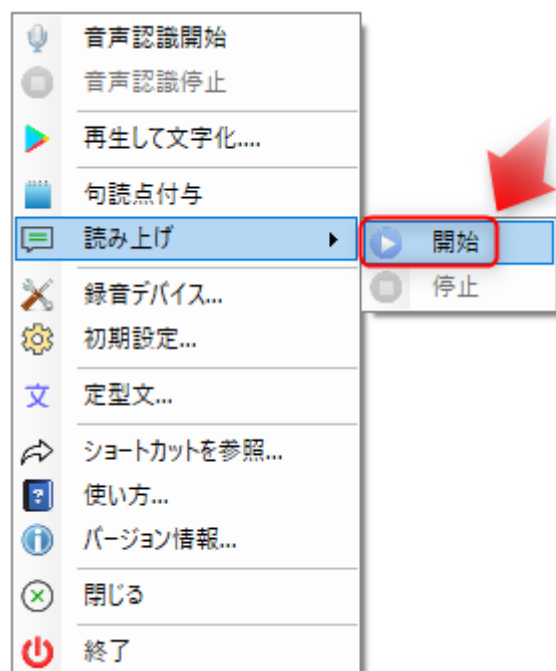
◆ 句読点を付与する任意のソフト(Ctrl + Vに対応したソフト)の貼り付ける場所をクリックします。



- ◆ [OK]をクリックすると、句読点が付与された文章が貼り付けられます。
- ◆ クリップボードに句読点が付与された文章が設定されていますので、繰り返して別の場所に貼り付けることも可能です。この場合は、Ctrl + V や各ソフトの[貼り付け]操作を行ってください。

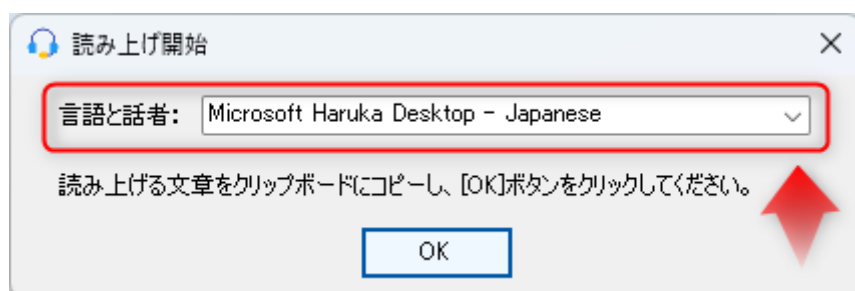


9. 読み上げ

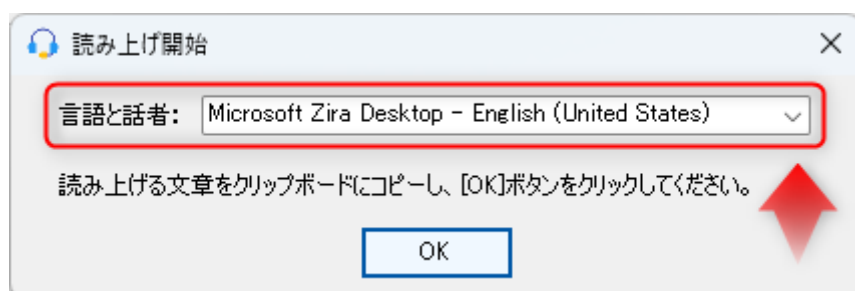


◆読み上げる言語と話者を選択します。(日本語か英語が選択できます)

日本語の例



英語の例

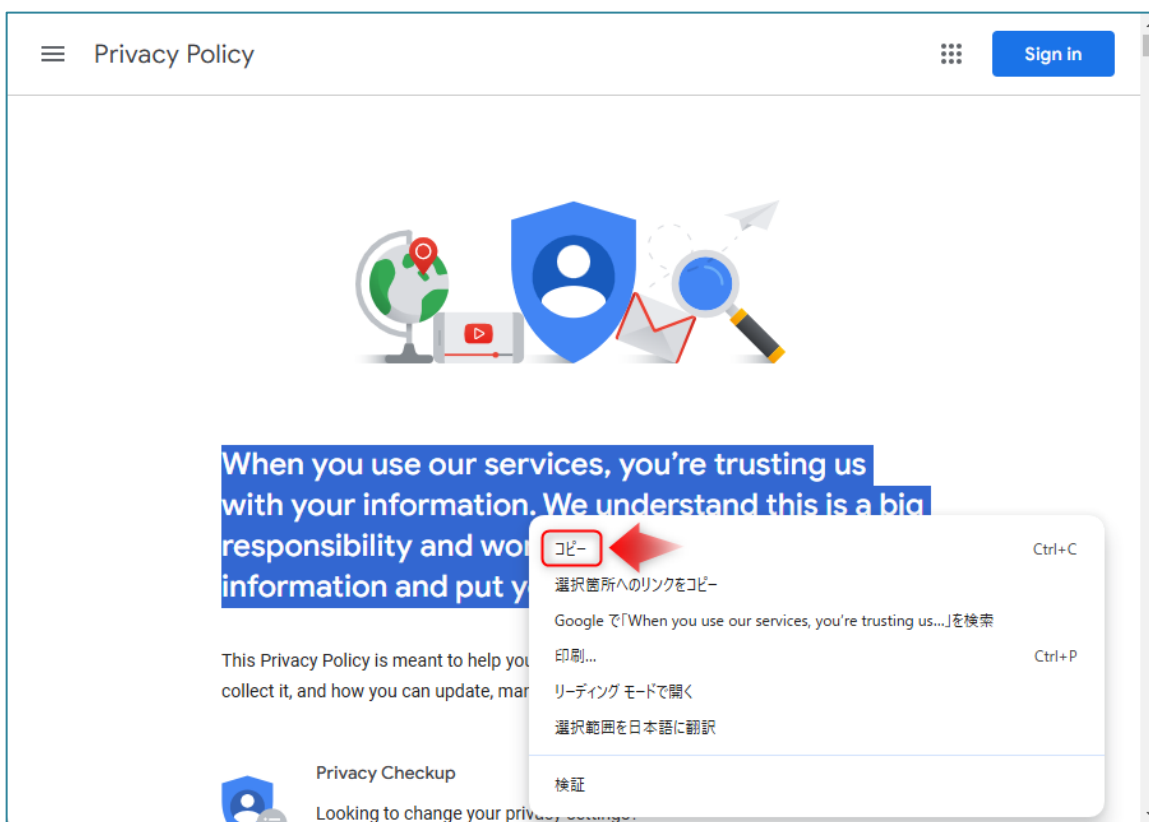


読み上げたい文章を選択し、コピーします。

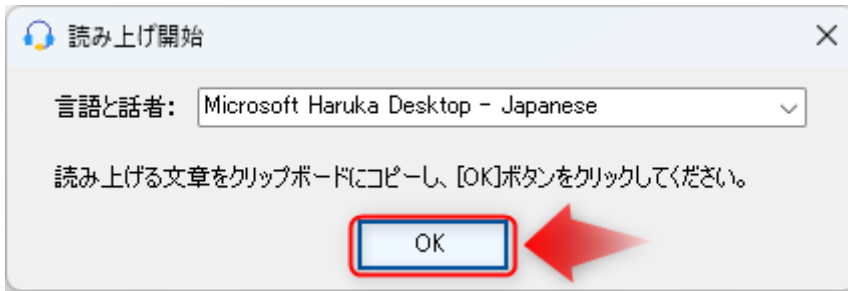
日本語の例



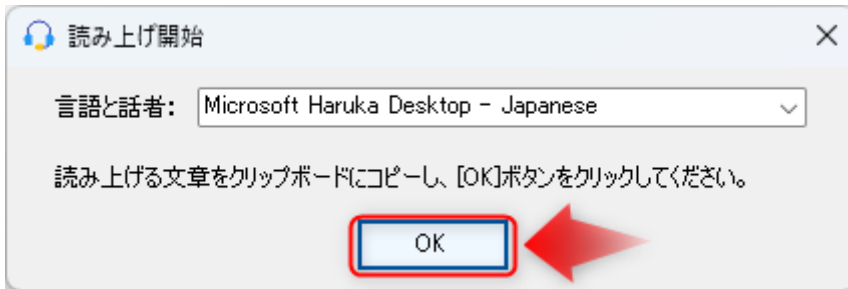
英語の例



日本語の例

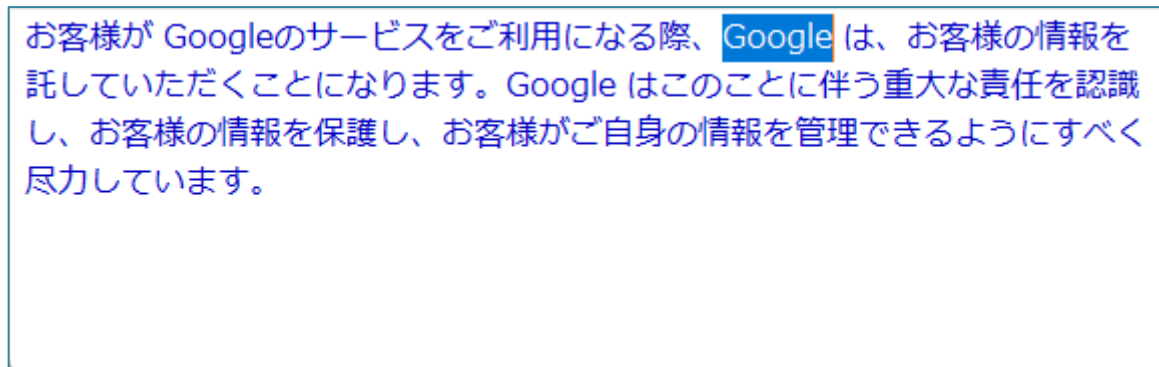


英語の例

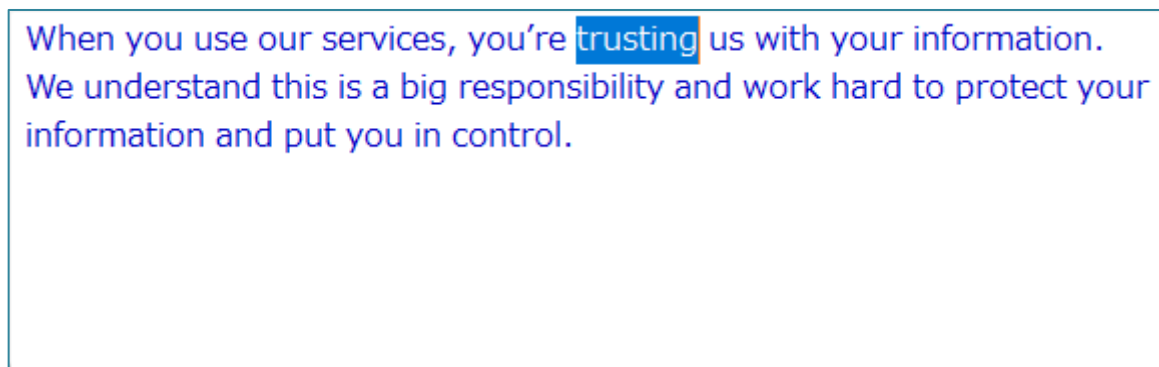


- ◆ [OK]をクリックすると、クリップボードにコピーした文章の読み上げが始まります。
- ◆ 読み上げ文章が右上に表示され、読み上げている部分がハイライトされます。

日本語の例



英語の例



- ◆ すべての文章の読み上げが終わると、ダイアログは閉じられます。

10. クリップボード履歴の使い方

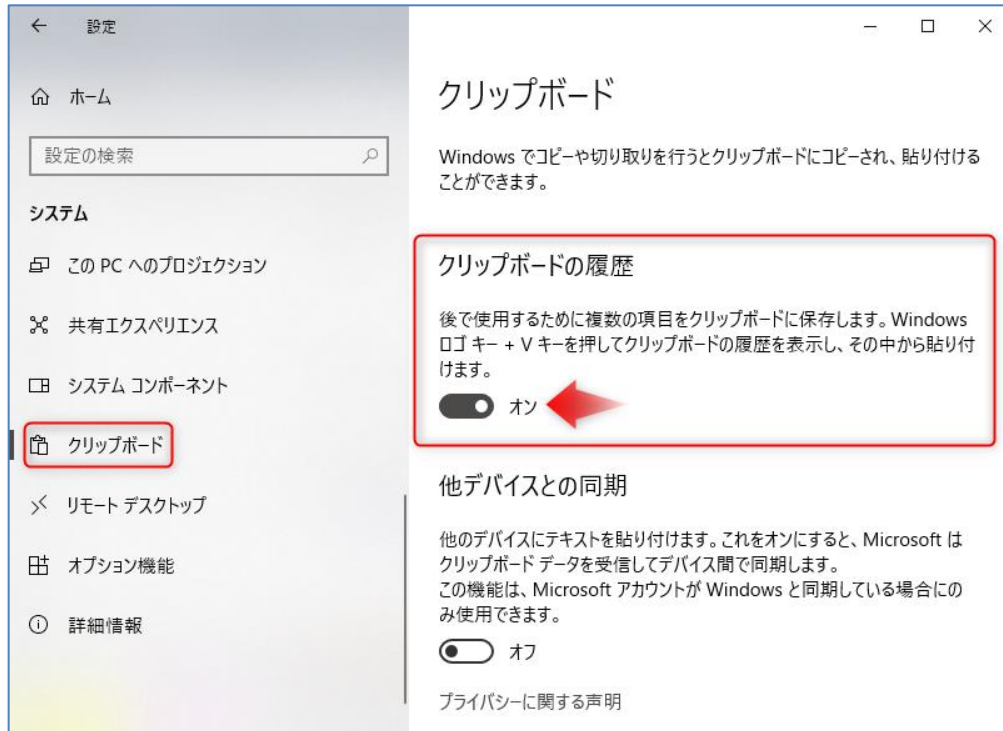
10-1 クリップボード履歴の使用

Windows 10/Windows 11 には、標準でクリップボードの履歴（25 個まで）が使用できます。音声認識された結果は、クリップボード履歴に蓄積されていきますので、後で、貼り付けることも可能です。

設定>クリップボード（Windows 10）、設定>システム>クリップボード（Windows 11）を選択し、クリップボードの履歴を On にしてください。

◆パソコンを再起動すると、クリップボードの履歴はクリアされます。

Windows 10 の場合



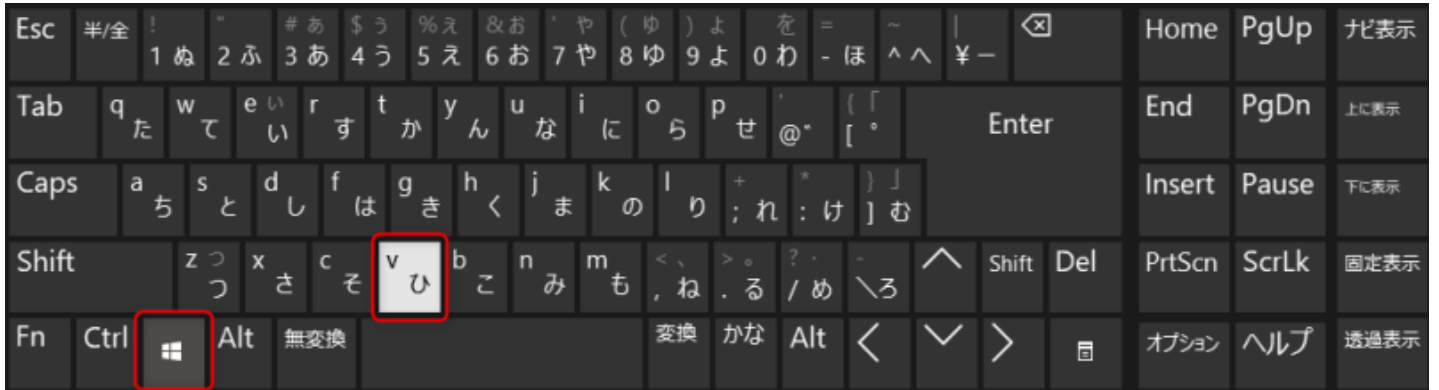
Windows 11 の場合



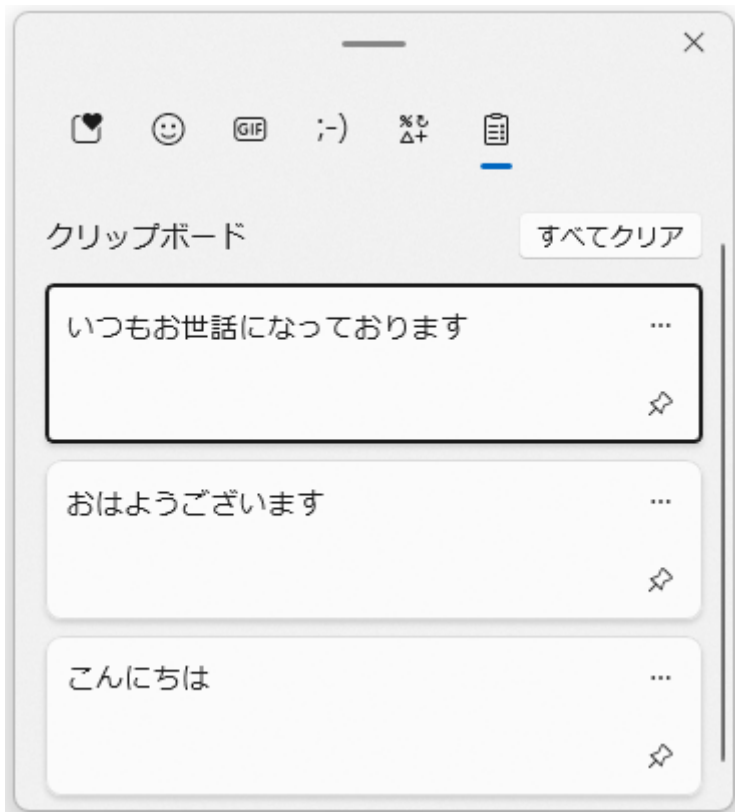
10-2 クリップボード履歴を使って編集画面に貼り付け

任意のテキスト編集画面上で、(Windows ロゴ)キー+ V の操作で、クリップボードの履歴が貼り付けできます。

◆通常の Ctrl + V の操作は、直前にコピーした情報が貼り付けられます。



クリップボード履歴の例

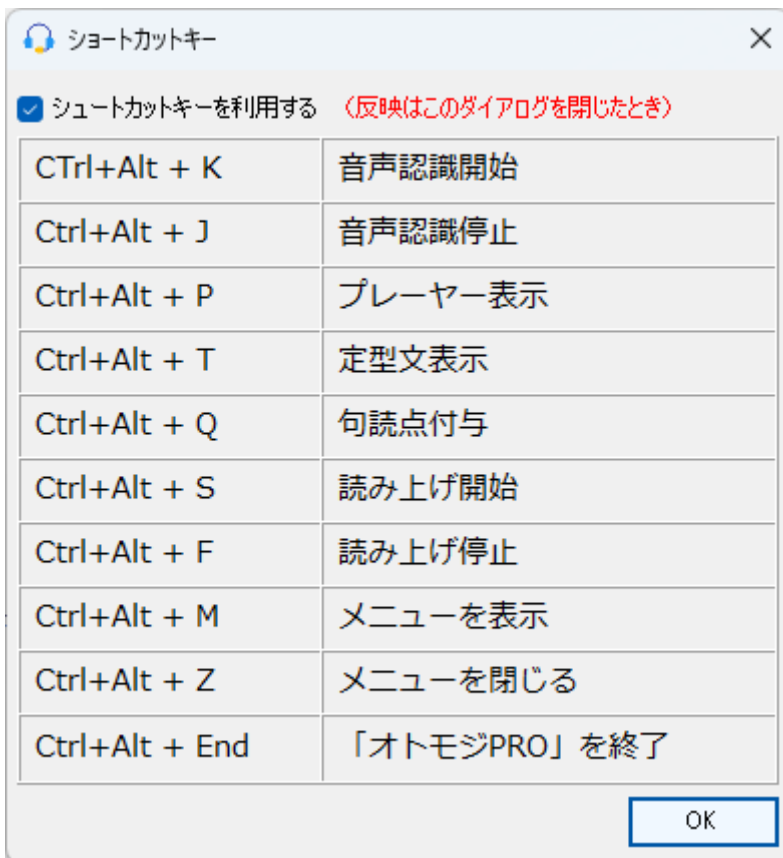
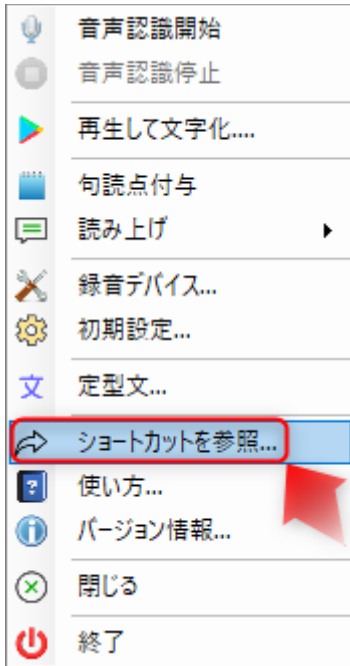


- ◆ [すべてクリア]を選択すると、クリップボード履歴がクリアされます。
- ◆ [アイテムの固定] を選択すると、そのメッセージは、クリアされずに残ります。(パソコンの再起動まで)
- ◆ [...]から [削除]を選択すると、そのメッセージは履歴からクリアされます。
- ◆ クリップボード履歴の使い方の詳細は、Windows の取扱説明書を参照願います。

11. ショートカットを参照

本ソフトの主要操作は、マウスを用いずに、キーボードだけで操作できます。

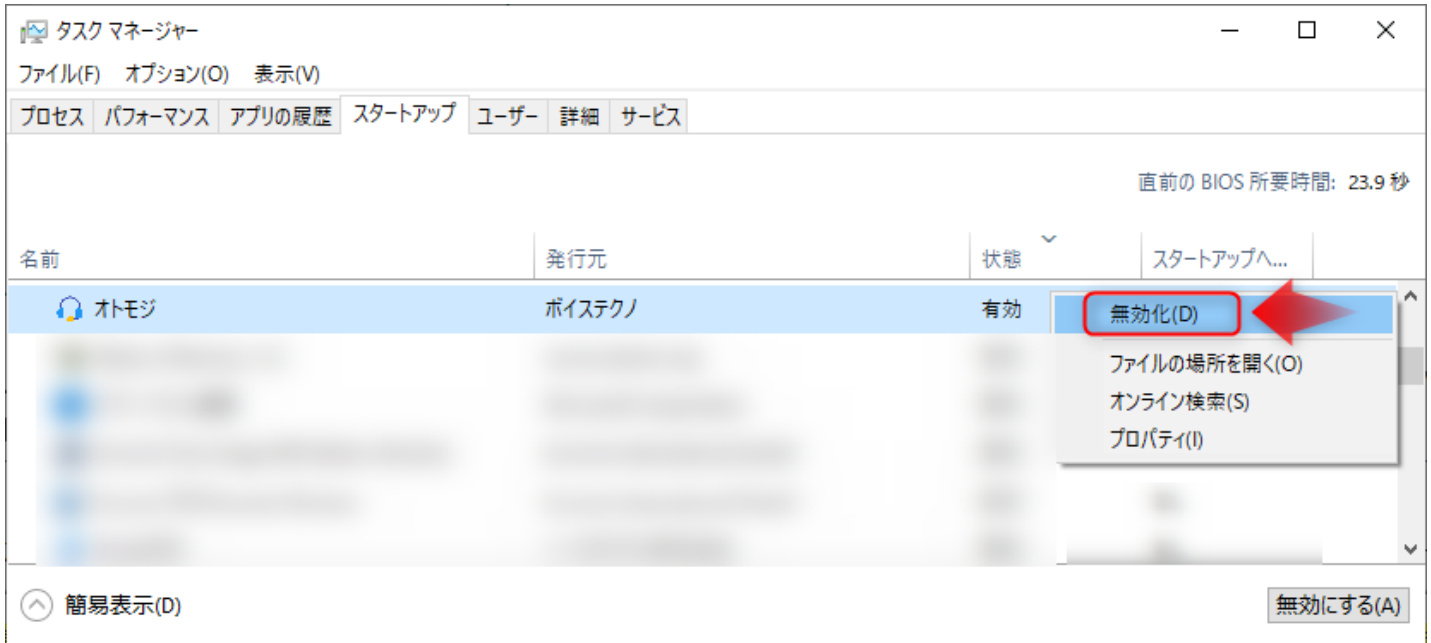
設定されているショートカットは、メニューから[ショートカットを参照]を選択すると確認できます。



◆ショートカットが不要の場合は、[ショートカットキーを利用する]のチェックボックスを外してください。このダイアログを閉じたときに、設定が反映されます。

12. スタートアップの登録解除

本ソフトをインストールすると、スタートアップに登録され、パソコンを起動したときに、自動的に起動し、通知領域に格納されます。パソコン起動時に、本ソフトを起動しないようにするには、タスクマネージャーのスタートアップにある本ソフトを無効化してください。



◆スタートアップから完全に削除するには、

C:>ProgramData>Microsoft>Windows>スタートメニュー>プログラム>スタートアップ

(C:¥ProgramData¥Microsoft¥Windows¥Start Menu¥Programs¥StartUp)

を開き、オトモジ PRO のショートカットを削除してください。

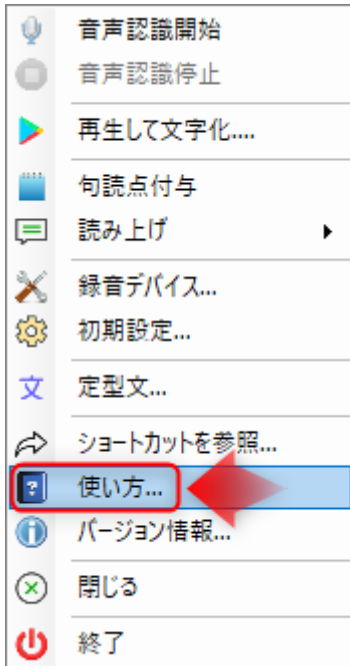
13. バージョン情報

メニューから[バージョン情報]をクリックすると、バージョン情報が表示されます。



14. 使い方（動画）

メニューから[使い方]ボタンをクリックすると、本ソフトの使い方を解説した[ホームページ](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）が表示されます。操作手順を動画でも確認できるようにしています。



A screenshot of the VoiceTechno website. The website header includes the logo 'Voicetchno' and the name 'ボイステクノ'. Navigation links include '商品ホーム', '体験版', 'アップデート', 'よくある質問', and 'サポート'. The main content area features a banner for 'オトモジPRO' with a price of '新規ご購入 ¥7,980 (税込)' and a 'ご購入はこちら' button. A 'ショートカットキー' (Shortcuts) dialog box is overlaid on the page, listing various keyboard shortcuts and their functions. A '使い方...' menu item is also visible in the background, matching the one in the previous image.

ショートカットキー	機能
Ctrl+Alt + K	音声認識開始
Ctrl+Alt + J	音声認識停止
Ctrl+Alt + P	プレーヤー表示
Ctrl+Alt + T	定型文表示
Ctrl+Alt + Q	句読点付与
Ctrl+Alt + S	読み上げ開始
Ctrl+Alt + F	読み上げ停止
Ctrl+Alt + M	メニューを表示
Ctrl+Alt + Z	メニューを閉じる
Ctrl+Alt + End	「オトモジPRO」を終了

「マイクによる音声文字化」の使い方は[こちら](#)
「再生して文字化」の使い方は[こちら](#)
「句読点付与」の使い方は[こちら](#)
「読み上げ」の使い方は[こちら](#)
「定型文の入力」の使い方は[こちら](#)
「クリップボード履歴」の使い方は[こちら](#)

▲ このページの先頭へ

copyright©VoiceTechno all rights reserved.

15. サポート連絡先

【ボイステクノサポート】

オトモジ PRO の [よくある質問](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) のご確認をお願いします。

それでも解決しない場合は、[サポートページ](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) のお問い合わせフォームから、必要事項をご記入いただき、送信してください。

- ◆ 24 時間受け付けております。
- ◆ お問い合わせいただいてから「3 営業日」以内の目途に回答いたします。
- ◆ お問い合わせはメールでの受付のみとなっております。
- ◆ 音声認識を行うサーバーは、不定期にメンテナンスを行うことがあります。あらかじめご了承ください。メンテナンス中は、音声認識が実行できない状態となります。

16. ホームページ

オトモジ PRO の [専用ページ](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をご確認ください。

【開発元】ボイステクノ (<http://voicetechno-jp.secure-web.jp>)